

育教の兒幼

號三第 號月三 卷十三第



內校學範師等高子女京東
會協園稚幼市日

廣島文理科學博士 久保良英著

現代心理學叢書

第一編

新刊

形態心理學

形態心理學の出現と共に心理學界は一大センセーションを捲き起して居る。彼等はヴントやゼームスの如き巨匠に依りて建設された心理學の大殿堂を根底から覆さんと試み、在來の心理學とは全く異つた見地から精神現象を見直さんと企て、一冊の著書は其學說を多く論文として雜誌に掲げらるゝ、況んや我邦に於ては未だ此種の紹介は一冊もなく、一日も早く其出版を期待されて居る。今同形態心理學の著者邦逸に於て努力しつゝありし久保博士に依り初めて本書が公にせられた。實に我邦人の必讀の要書である。

第二編	精神分析學	近刊	第三編	人格心理學	近刊
第四編	行動心理學	近刊	第五編	精神派心理學	近刊
第六編	性格學と筆蹟學	近刊			

好評

實驗心理學精義

廣島文理科學大學教授 文學博士 久保良英先生著

實驗心理學の檢討に餘念なき著者は前篇簡單なる行動篇。後篇複雑なる行動篇を著しその編纂方法は質的及量的兩者交互に説叙し未決の問題は之れを未決の問題として貽し、且つその結果相背馳せるものに對しては決して獨斷的私見を取らず、終始一貫純正なる學者的の立場より世界の心理學者が開拓せし所、又はせんとする所を周知懇切に詳述せるものなるを以て實地心理學の充實せる事は言を俟たず。

◆簡單行動篇 菊判紙數八百頁・挿圖貳百 定價金六圓 送料金貳圓七錢
◆復雜行動篇 菊判紙數八百頁・挿圖貳百 定價金六圓 送料金貳圓七錢

菊判洋銀廿圓三錢定價 全一冊 洋銀八十錢

發行所 東京市牛込區 中野文庫書店 電話 振替 東京 三八四七 二五番

生徒募集

本科生 四十名

研究科生 若干名

願書受付 三月三十一日まで

規則書は貳錢郵券封入申込まれよ

創立以來十四年。

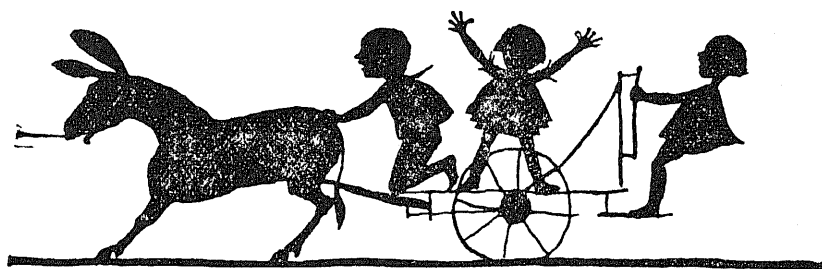
大正五年東京市麴町區に創立。

昭和二年武藏野の一遇なる現在地に新築
附近に森あり、川あり、野ありて四時自
然の恩恵をうけ、本校の特色とする、自
然觀察、博物採集、自然物應用の手工材
料豊富なり。

玉成保姆養成所

所長 ソファヤ アラベラ アルウキン

東京市外高井戸町中高井戸 一三三
省線西荻窪下車直南約五丁



育教の兒幼 輯編會協園稚幼本日

會長

東京女子高等師範學校校長

吉岡郷甫

主幹

東京女子高等師範學校教授
附屬幼稚園主事

堀七藏

日本幼稚園協會規則

- 第一條 本會ハ幼兒教育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス
- 第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼兒教育ニ篤志ナルモノトス
- 第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ月金參拾五錢ヲ齎出スヘシ
- 第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒテ客員トナスコトアルベシ
- 第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本會ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ヲ與ヘラル、モノニ請ヒテ地方委員トナスコトアルベシ
- 第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク。但場合ニヨリ臨時休會スルコトヲ得
- 第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ
 - 一、幼兒教育ニ關スル研究及ビ調査
 - 二、幼兒教育ニ關スル講演會及ビ講習會ノ開催
- 一、雜誌發行(毎月一回)

- 一、幼兒教育ニ關スル圖書刊行
- 一、保姆就職及招聘ニ關スル仲介
- 一、其也本會ノ目的ニ裨益アリト認メタル事件
- 第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
 - 會長 一名 會務ヲ總理ス
 - 主幹 一名 會長ヲ輔佐シテ會務ヲ掌理ス
 - 幹事 若干名 會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ分掌ス
 - 評議員 若干名 重要ナル事件ニ關シ會長ノ諮詢ニ應ズ
- 第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモノトス
- 第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ヶ年ヲ期シテ會長ヨリ推舉スルモノトス
- 第十二條 本會ハ必要ニ應シ特ニ委員ヲ設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、アトアルヘシ
- 第十三條 本規則ハ總會出席會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラザレハ變更スルコトヲ得ズ



第 三 號 幼 兒 教 育 の 第 十 三 卷

—(次 目)—

口 繪 ある日の午後

雪 景(砂箱)

幼兒の生活……………堀 七 藏…(二)

短 信(二)…季……………倉 橋 惣 三…(一〇)

新入幼兒を迎へんとして……………(一三)

△大阪鳩巢園・東京武藏野高女附屬幼稚園・東京市朝海幼稚園・成田幼稚園・大阪市立

御津幼稚園・東京市本郷區第一幼稚園・東京市富士見小學校附屬幼稚園・東京府女師

附屬幼稚園・福島縣郡山幼稚園・東京市番町小學校附屬幼稚園

醫師の立場より見たる幼稚園と急性傳染病……………島 信…(三八)

遊戲に對する理論の摘要……………土 川 五 郎…(四)

面白イコドモカルタ……………奥 田 兵 治…(五〇)

雜 感……………坂 田 ミ ツ…(六一)

幼稚園の手工について……………玉成保姆養成所研究生…(六五)

作り易い草花……………大 岩 金…(七一)

雜 錄……………(七九)

青年訓練所の表彰・長崎市立山町に玉閣學園の開設

東京女子高等
師範學校講師

金子彦二郎先生新著

(價至廉・内容飛切)

最新刊

新作打たずに鳴る太鼓

美本兩入三八〇頁
定價一圓三十錢
送料十錢

全國各學校圖書
必備

讀んで面白く聞かせて喜ばれる趣味の新童話集!!
かねて本誌でも馴染の金子先生の新作童話集が出ました。國文學者で教育家で名文家の著者が、その優婉豊麗な筆觸と兒童愛に躍る心とを以て愛兒の爲に書かれた名作二十篇は、悉く幼少年達の純な心と睿知とを培ふ無限の甘泉で、又子女を持つ親兒童教養の任にある先生方の説話の無盡の寶庫であります。是非一本を!

近刊
豫告

東京女高師教授兼幼稚園主事

堀七藏先生新著

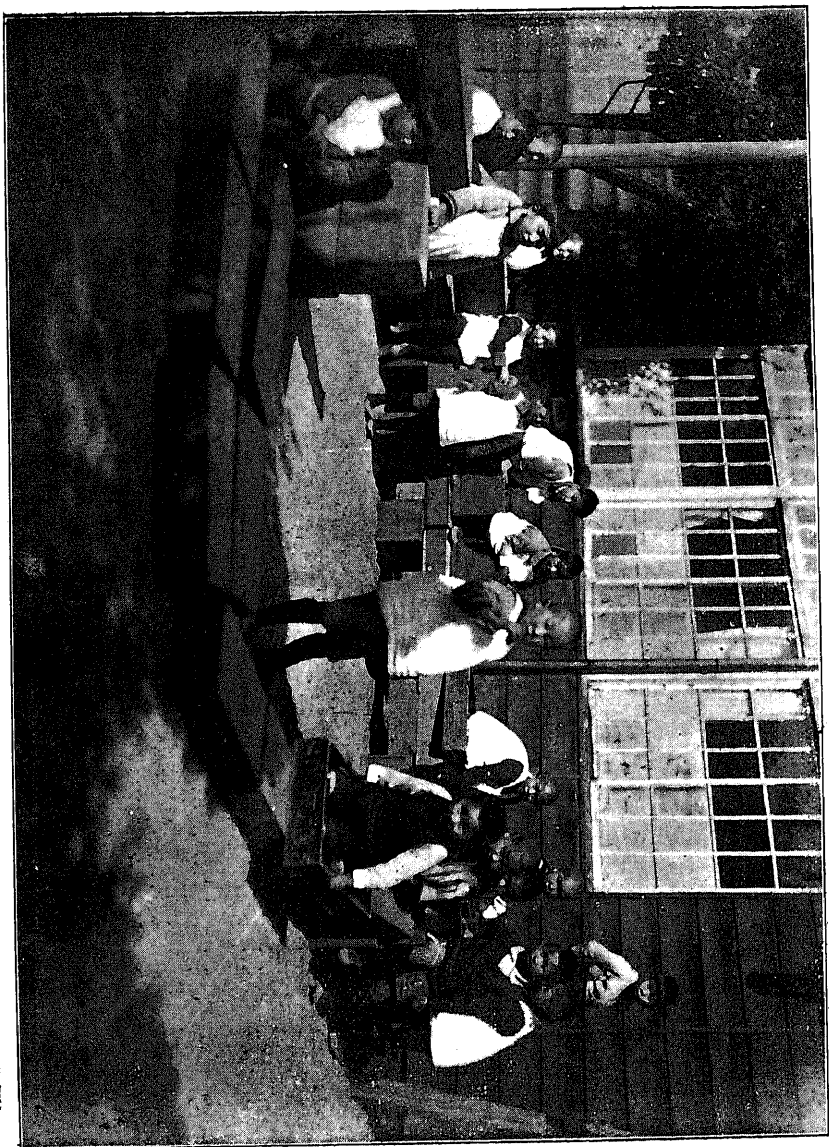
歐米の幼稚園並に小學低學年教育の實際

美しい挿繪と書換へられ、書き加へられた内容からなる權威的名著。

昭々閣書房

振替東京市外
東區並杉
四町高
四圓寺
五番
四九

發行所



或る日の午後

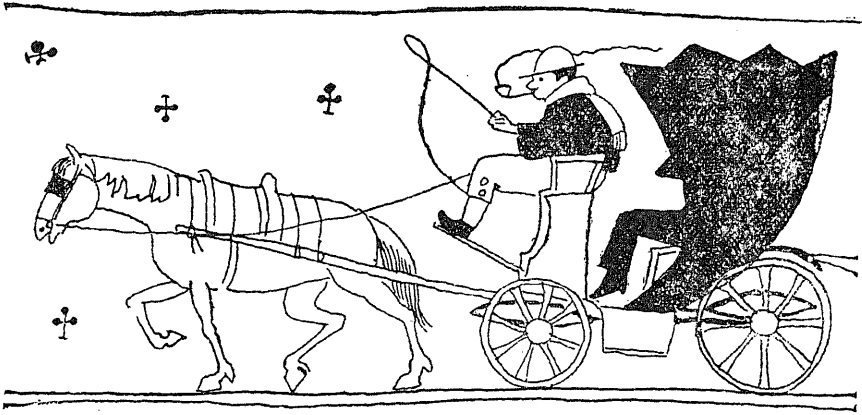
(東京女子高等師範學校附屬幼稚園)



雪

景

(東京女子高等師範學校附屬幼稚園)



第三十卷 幼兒教育の第三號

昭和五年三月

一、教育で家庭教育位重要なものはありません。家庭教育の良否は實に人生を支配し國家の發展を左右するのであります。最近の學術は益々家庭教育の重大なる使命を立證し近時の社會現象は善良なる家庭教育の必要を痛感せしめてゐます。

一、家庭教育の短を補ひ幼兒の心身を充分に發達せしめ將來受くべき學校教育の基礎を築くものは幼稚園保育であります。幼稚園保育の重視すべきことは天下一人も異議がないのであります。

一、幼兒の教育は本邦唯一の幼稚園保育に關する發表機關であります。而してまた本邦唯一の家庭教育雜誌であります。

一、幼兒の教育は幼兒の教育、即ち家庭に於ける教育と幼稚園に於ける教育、更に小學校初學年教育に關する事項は細大となく網羅し、以て家庭教育の向上を計り、幼稚園保育の進歩發展を期する大抱負をもつて産れたもので有ります。

幼児の生活

二

一、幼児と年寄

堀 七 藏

誰でも幼児が幼弱なものであることは十分に承知であります。それで無暗に幼児を保護するといった態度で却つて幼児の活動を束縛し、筋肉の發達を抑制するが如き場合が少くありません。幼児なるが故に重いものや大きなものを動かしたり持運んだりしてはならぬといふやうに八ヶましくいふ人があります。幼児の力不相應な重いものは勿論動かすことが出来ません。出来ないことを強ひてやらせることは幼児に不當であります。しかゝ努力すれば出来る程度のものならば成るべく幼児に行はせることが甚だ肝要なことであります。それを何でも「お前は子供だから」といふ強い先入觀念から幼児に出来ることでもさせないといふ場合が甚だ多いのであります。所謂老婆心と申しませうか。何でも「それは重いからいけない、それは大きいからいけない、あ、それは危険だから」と幼児の一舉一動を抑制して幼児が真にその筋肉を働かし、働かすことによつて筋肉の發達することを全く無視するが如きは甚だ面白

くなくと思ひます。

成程幼児の筋肉は幼弱でありますから大人のなすが如き動作には堪えません。また筋肉の統制がよく行はれませんから走ることも上手ではありません。いろ／＼平均運動などは全く不得手でありますから大人が横から見てゐると大變危険に思はれる行動が誠に少くありません。しかしそれ等を凡て抑制してゐるときは何時までも幼児には練習することが出来ません。努力して多少危険を冒かしても行動し、體驗するときに幼児の筋肉が眞に發達するものであることを三省せねばなりません。

昔から「子供と年寄」といつて、子供が年寄に似てゐるといふのか、年寄が子供のやうになつたといふのか、子供を年寄に世話させるがよいといふのか、また年寄が子供を可愛がるからといふのか。或は是等の凡てが理由となつて「子供と年寄」と結付けられてゐるのかも知れません。

成程子供と年寄とは相似た點がないでもありません。年寄の身心共に子供に似寄つて来る所があります。年寄も子供の如く身體が自由に動かなくなります。しかし子供の身體と年寄の身體とは非常な相違があります。身體の自由がきかない點が似てゐるやうであります。子供の自由のきかないのは筋肉がよく發達してゐない爲でありますし、年寄の自由がきかないのは老衰し十分發達したものが衰弱しての不自由であります。従つて幼児には旺盛する元氣があつて筋肉が思ふやうに働かないのであります。年寄では元氣がなく筋肉が思ふやうに働かないのであります。幼児は原動力が強いが機關が十分圓

滑に運轉しないやうなものでありますが、年寄では原動力も弱く機關も摩滅してよく運轉しないやうなものです。子供はよち／＼ではありますが、また不器用ではありますが、絶えず四肢を動かして瞬時でもヂットしてゐません。年寄は四肢や身體を動かすのが大儀であり憶怯なのであります。年寄は實に靜止的であり休止の状態に近づきつゝあるのでありますが、幼兒の身體は盛に運轉することによつて能率の高いものとなり完全に發達するのであります。同じく運轉が圓滑でない機關であつてもその原因が異り將來が大に違ふのであります。老朽な年寄から事々物々一舉一動制限せられたり抑制せられたのでは幼兒はたまつたものでありません。幼兒はこれから身體を使ふことによつて發達すべきものでありますから年寄の如く靜止的なことを許しません。常に活動性を満足することによつて大に發達せねばなりません。この點からして幼兒が年寄の世話になることは誠に氣の毒といはねばなりません。幼兒が年寄育であると思角身體を動かすことが少く、徒らに口を使つて他人を使ふが如き風が助長せられるのは否定出來ぬ事實であります。また年寄育ちの幼兒が思角早熟の風があり、口達者で行動がそれに伴はぬのは誠に多い事實であります。この意味からして幼兒を年寄の世話に任せることは至極面白くない結果を産出すことを用心せねばなりません。世にはおばあさん育で我儘であるといふ幼兒が多いものです。これはおばあさんの慰安物となり、おばあさんの玩弄物となつた結果であります。幼兒にとつて年寄が世話をせられることは實に有難迷惑であります。年寄の無暗な可愛がり方からして幼兒は思角身體を使はず

して自分で出来ることも自分でせぬ何でも他人を使ふ悪い習慣が出来るのであります。幼児が幼児としての眞の生活をなさず年寄の生活を眞似るのであります。年寄には靜肅にしてゐることは左程苦痛でありませんが、幼児には非常な困難であり、苦痛であります。それで何時の間にか年寄の監督からのがれて幼児はその本來の自由な天地に逸出するものであります。若しそれ年寄の満足するが如き幼児があればそれは年とらぬ老人となつてゐるのであります。五六歳の年齢で既に年寄じみた行動をなし思想を有するに至るもので實に堪えない結果に陥つてゐるものといはねばなりません。家庭に於て年寄の玩弄物として幼児を提供することは時に止むを得ない場合があるかも知れないが、年寄の犠牲として幼児を提供するもので、幼児にとつては誠に氣の毒な事實であります。出来るならば幼児は幼児同志、幼児としての生活を行ふやうに家庭生活を工夫せねばなりません。老後を慰めるが爲に幼児の全生涯を犠牲となすことは是非さけねばなりません。我が國の家庭は實に美風に富んでゐるが、家族制度なるが爲めに幼児を年寄の玩弄物となし、年寄の慰安物となし年寄の生活を趣味つける犠牲となすことは實に改善せねばなりません。

一、 幼児の出来ることは幼児に行はしめよ

幼児はあり餘る活力を以ていろいろの行動をなす間にその筋骨を使つて身心の充分なる發達が出来る

のであります。睡眠中を除き若し暫時でも手足を動かさず、元氣なく休息してゐるが如きことあらば、それは幼児の生活に何等か異狀があり、病的狀態であると考へてよい位であります。實に幼児は活動その物であり、幼児の生活は瞬時も靜止することのないのが常態であります。従つて幼児が出来ることゝ多少努力して出来ることは悉く幼児自身に行はせることが眞に幼児の心身を發達させる唯一の方法であります。幼児の活動性を満足させるため、幼児の出来ることは成るべく幼児に行はしめねばなりません。多少幼児には無理のやうに見えても幼児が興味を以て努力する場合には思切つて幼児のなすが儘に委するがよいのであります。若しその事柄が悪事であるとか、非常な危険を伴ふとかいふが如き場合は必ず禁止せねばなりません。それは幼児には是非善惡の判斷がつきませんから、惡事であるとか幼児に不相應な事は絶對命令として從順に大人の言付けを守らしめねばなりません。しかし幼児には多少困難でもまた多少危険でも、その結果が悪事でない限りは適當な監督指導の下に幼児自ら行動せしめるだけの量が保姆になくはなりません。何時も「あぶない」で高い段々を登らせないといふが如きことは眞に幼児の發達を考量した保育ではありません。砂利の上を走るとあぶないと常に禁止してゐては何時までも幼児が努力し練習することが出来ません。それで幼児には出来ることをなさしめる。幼児に自分のことは成るべく自分でさせるといふやうに行動せしめねばなりません。洋服の釦を何時までも附添や保姆がかけてやるやうではなりません。靴の始末も幼児自分にさせねばなりません。幼児の生活に於て

幼児自身に出来ることを幼児にさせることは幼児の生活を指導する上に於て非常に肝要なことである。幼児にさせて置くと下手であるから困るとか、時間がかゝつて困るといふ理由で、兎角幼児のなすべき事を大人で奪ふ傾向が多いものであります。これは甚だ面白くない結果を持來するものであります。幼児がなせば下手であるが故に特に幼児に行はせて練習させ上手にするやうにせねばなりません。幼児にさせると時間がかゝるから幼児にさせて時間のかゝらないやうに練習させねばならぬのであります。この點は幼児の生活全般を通じて十分注意せねばならぬ指導の原則であります。然るに口小言ばかりやかましく、「あゝしなさい。こうせねばなりません」といふ教訓たつぷりで、幼児の活動や動作を束縛する保育が世間に多々見る所であります。幼児を抑制するよりも指導し、幼児を靜かにさせることよりも盛に活動させ、その間に幼児の發達を助長する工夫が肝要であります。即ち幼児の生活内容を充實させて幼児の發達を促進することに保育の大方針を向けねばなりません。我が國の幼稚園に於て幼児は常に靜的に畏縮し、常に消極的に室内に保育せられてゐる傾向があるのは甚だ寒心すべきことであります。或る宗教家が相當立派な筈の幼稚園を參觀し、四十餘人の幼児が狭い保育室内に收容せられ、朝から午後歸宅するまで靜肅に腰掛け、保姆の命令指圖で一舉一動規定せられ、若しわき見をすると、「誰さんいけません。先生の方を御覽なさい。そら誰さんしやべつてはなりません。よく先生の言ふ通りに靜かにしてゐなくてはなりません。この紐を先生のする通りに、この方に曲げなさい。誰さん、それはいけま

せんそんなに曲げてはでんでんむしになりませんよ。さあこれからお遊戯いたしませう。静かに列をつくつて遊戯室に行きなさい。皆なお静かにしてゐるのですよ。先生は一寸お茶をのんで來ますからね。先生がゐないからといつてかけたりとんだりしてはいけませんよ。……これからお遊戯をします。右の手をこんなに上げなさい。これは高く斜に結んで出すのですよ。さあ皆さん出して御覽なさい。そうそれでよろしい。このとき扇はね、左手にもつてね……」などと幼児が教師の命令や小言で、十重二十重に束縛せられてゐる有様を観て感嘆して曰く、「幼稚園は幼児が楽しんで遊んでゐる所、恰も極樂の如きものであるかと考へてゐたがこれはまた大變な相違であります。これは幼稚園ではなく幼児の地獄でありますね」と。宗教家だけあつて地獄の言葉も極樂の語も誠にふさはしいのでありますが、さてこの宗教家の嘆聲の如く幼稚園は誠に地獄の如きもので差支なきものか、吾々幼稚園當事者は常に反省せねばなりません。

三、幼児の自由を束縛するな

「幼稚園では頑是ない幼児を三四十人も一人の保姆が受持つてゐるのであります。甚だ不都合ではあります、時には四五十人の幼児を一人の保姆が受持つのでありますから、とても生やさしいことでは監督が出來ません。幼児の注意が散慢になることもよく知つてゐます。幼児の自由に活動させることがよ

いこともよく知つて居りますが、どうも四五十人の幼児では手におひませんから仕方なしに叱かります。一寸油斷すると直に喧嘩したり泣いたりいたしますので手技も教へることも出來ず、遊戲も教へることが出來ませんから一人掛の机腰掛にかけさせてヂットお行儀よくさせるのであります」と保姆諸君の身になると相當理由もあり、また申分もあります。某宗教家の幼稚地獄に對して幼稚園當事者として相當辯明があるやうであります。しかし幼稚園は幼稚園として眞に樂園として幼児を保育してその身體精神を健全に發達せしめ、善良なる性情を涵養せしめることが出來るならば無理に幼稚園を地獄化する必要がありません。必要がないのみでなく、甚だ不都合といはねばなりません。多くの場合幼稚園生活が無暗と束縛せられて幼稚園が地獄化するのは眞に幼児の發達を目的なすよりも、誤つた目的を達成するが爲に幼児が犠牲となる場合が多いのであります。この點に十分冷靜に判斷せねばならぬ所でありませう。幼児の自由を無暗に束縛して幼児の生活を靜的になし空虚なものとなして果して幼稚園保育の目的を達するものであるか。幼児の活動を助長し幼児の生活に卽した保育を行つて幼稚園が樂園であり、幼児が楽しんで幼稚園に通ひ眞に保育の目的を達することが出來るものはないか。何も強ひて幼児の自由を束縛することが唯一絶對の保育法でもないではないかを反省せねばなりません。

短 信

(三)

倉 橋 惣 三

季

春が来た。どこへ来た。——野がすっかり緑になり、花が満開に咲き盛つてからならば、誰れにだつて春といふことが心づきましよう。それでも季を知らない人があるならば、季へのあきめくらです。しかし、一體、季といふものは移りかわりをいふことで、その移りかわりにこそ季の味も趣もあるものです。一年を春夏秋冬の四つに分けて、それを一と仕切り、一と仕切りに區別するばかりが季ではありません。

季の中でも、冬から春への動き程うつり變りのこまやかなものはありますまい。春、來、り、つ、い、あ、る、といふような洋風の言葉づかひや、忍、び、寄、る、春、といふような情趣の言葉でも、到底いひあらはし盡してはゐない獨特の動きで、徐々に、しかもぐん／＼と力強いうつり變りを見せて呉れるではありませんか。暗さから明るさへ、澗さからうるほひへ、萎縮から開放へ。——それが、いつといふこともなく、ひろが

りもし、盛り上げても来るのです。空にひろがり、地に盛り上つて来るのです。

まだ冬といふ聲の中に、いつの間にか春の來てゐるものは、久方の空の光のたゞよひばかりではありません。庭の土の色、そこには一寸の處にまでもう春が盛り上つてゐます。森の樹々の膚のうるほひ、そこには一面に芽をふきそうな春の力を漲らしてゐます。枯草堤とばかり踏みつけてゐた南の斜面には、御覽なさい、浮き出たような緑を吹き出してゐます。——熟した春には、染め上げられ、織り上げられた美はあつても、ほんとうの春の心はありません。春は春になろうとしてゐる動きの間にのみあるといふべきです。

春の心は、春と共に動いてゆく心です。共に動きながら、その歩みの早さに驚かされる心です。驚きが感ぜられなくなつた時は、もう春の生命の無くなつた時です。その時、春は却つて淋しくなります。多感の人には悲しくさへなります。しかもそれは、動く春の思ひばかりではなくて、春の眞中に於て多く感ぜられるものです。或は、それ程でないとしても、屢々倦むような心になるものです。——そんな、不動の無氣力や、退嬰のはかなさの何處に、ほんとうの春の心があるものですか。次から次へ驚く心、次から次へ踊り進むような心、そればかりを春といふのです。

心なき所謂詩人の群が

家の戸口の春を見落して

春を探しに出かけてゆく

之れは、ほんとうの詩人が、似而非詩人を嘲笑つた言葉です。といふよりも、ほんとうの詩人が、いつも見なれた我家の戸口の前に、春の訪れを見出した言葉です。春は、どこそこにと探さなければ見つからないものではありません。どこへでも、いつの間にか、ちゃんと來てゐるものです。たゞ私達が心づかないばかりです。假りに心づいても驚かないからです。驚いてもそれをすなほに受取らないからです。

自然の美といふ言葉があります。それは示されたまゝの自然の形、色、音に於て賞するところのものゝ意味にも用ゐられます。しかし、一番微妙な自然の美は、季の動きの中にあらはれる自然の美です。此の意味で、季の動きを感じることは出来ないと言つてもいいでしょう。立ち止まらせて、形をきめさせた自然に、眞の自然の姿はありません。それは無器用なレンズの上に焼きつけた影に過ぎません。自然の美は、その識らざる歩み、即ち季にこそあるといふものです。

此の季の動きを、子どもが意外によく感じてゐるものです。

新入園児を迎へんとして

新入園児を迎へる時が参りました。何れの幼稚園でも新しい御抱負の下にいろ／＼御用意中の事と存ぜられますが此の時に當り諸幼稚園の、これが、御經驗、御計畫をうかがつてお互の參考とすることに致しました。學年末の多忙な折柄斯く多數の御寄稿をいただきますとして感謝にたへません。

○ 大阪市場巢園 佐藤 満壽

新入園児を迎へる頃……私達保姆にとつて自らの職責を最もハッキリと意識させらるる時であります、そして送り出さんとする幼児に對して、保育された幼児として余りに其効果の少なさを嘆かされ、また、迎へんとする幼児に對して新らしく考を湧き起すのであります。新しくして自らの力の足らざることも辱じず次から次へと理想を描いて

は新入園児を迎へて居ます、かやうなわけでも『新入園児を迎へんとして』の愚見を申述べることは少々氣恥づかしい思ひが致しますが兎も角小さやかなる當園の赤裸々なプランをお話し申し上げ「幼児の教育」のお求めにお答へし重ねて皆様方の御批判を仰ぎ度いと存じます。

x

當園はまづ、自然を對照として生理的心理的、道德的三方面の調和と統一に着想し自然及神の認識

に達せしめやうと努力せられたフレイベル先生の偉大なる精神に敬服し其自然主義をモットーとして居ります、然しフレイベル先生の恩物は殆んど使用致して居りませんと申してフレイベル先生の恩物を排斥致すわけでは有ません、もしフレイベル先生が今日も尙生存して居らるゝならば根本精神には變りはないでせうが、方法や手段は相當に變つてゐるだらふと考へられます。寧ろ現在殘されてゐる恩物と異つたものと範圍の廣い自由なものが案出されてゐたかも知れません。かやうな考へから當園は『教育の本來は警戒と保護が主で命令的、決定的、干渉的に行ふものでない』と力唱されたフレイベル先生の其尊い精神を學び且つモットーとしてゐます。然し實際に於ては中々六ヶ敷どうかすると只型のみに捕はれ一時的の効果を求めんとし、無形なそして幼児の將來に力を注ぐことを忘れんとすることが度々御座います。又一方

園児の親達に於きましても何か形をもつて示さなければ満足の出来ない方もあつて随分考へさせられることがあります。然し當園の主義を曲げるわけにも参りませず又親達の要求を無視するわけにも参りませず、色々考へました結果『幼少時代に於ける環境及境遇の影響』といふ問題に主きを置きまして先づ周圍の環境をよくするといふことに努力する意味で保護者と密接をはかるといふのみならず、共に幼児の爲に全力を注ぎたいといふところから從來の保護者會を『鳩巢園愛兒會』と改名し保護者は必ず會員の一人として私達保姆と共に幼児教育に關する色々の問題を研究し進んで當園の保育事業の完成につとめるべく同會を創設致しました。まだ新しい仕事ですから結果はどうかと存ますが、兎も角當園は幼児の入園を受けると同時に親達の入園も受けるわけで大いに幼児と親達を相手に計畫をすゝめて行度いと思ふて

居ます、まづ實際の方法と致しまして色々劃てゝ居ますが會員相互の懇親會、育児に關する講演會、子供連れの遠足會、子供服の講習會、幼兒に適當な料理及お辨當の講習會、遊戲の講習會、などを催すことゝなつて居ます、遊戲の講習會は現在一週晝夜二回開いて居ますが、お母さん姉さん達は大變な喜びで實に熱心なものです、中には又近所のお母さん方と有志で練習して居らるゝ方もあります、又一方に於て幼兒の健康といふことに今後一層の努力を拂ひ度と存まして、此三月から北醫學博士や其他の先生の御指導に依て組織的に研究をして行き度と存じて居ます。然し新入園兒については幼兒も親達も當園のすべての點に充分親しみを持て貰ふやうに、當分の間まづ理屈を抜にして色々の機會をつくり幼兒も親達も充分親しくなつた上で、次から次へと當園の希望を遂行して行き度ものと考へて居ます。

○ 武藏野高女
附屬幼稚園 森 とよ

いつも新學年初頭に繰返す言葉であるが、今年こそは充實した保育の實蹟を挙げ様爲にせめて希望の一斑事項を反覆改善して見たいと思ひ摘記致しました。

眞に保育の効果を收めんとせば、先づ其の幼兒の性質體質並に家庭の事情を知る事が必要である。故に保母は自ら家庭訪問をし隔意ない話合ひをなし、幼兒の長所短所を知り、又家庭の希望を聞き、然る後に各個性に適應した保育を開始する幼兒多數なれば止むを得ず必要事項を刷物にし家庭より解答を求めて、整理し斟酌して保育の方針をたてる。調査用紙の形式は

武藏野
高等女學校 附屬幼稚園幼兒調查用紙

幼兒 氏 名

生 年 月 日

一家長の職業

一 實父母の氏名年齢

一 祖父母の有無

一 兄弟の數 兄 人 姉 人 弟 人 妹 人

一 生後の重なる疾病

一 幼兒の長所 短所 習癖

一 最も好む遊び

一 最も好む飲食物 きらひな飲食物

一 幼稚園に對する希望

右參考して細心の注意を以て當り『家庭通信箋』に依つて聯絡をはかる。其の通信箋の形式一部分を左に

昭和 年度 月		事項	
		善行	健康
		態度	精神の傾向
		折衷	友達との関係
		合印	主任保護者印
第一週 自 日 至 日			
第二週 自 日 至 日			
第三週 自 日 至 日			

第四週 自 日 至 日						
備考						

一、在家庭の氣分と在幼稚園の氣分

畢竟幼稚園は家庭の延長なるが故に兩者の間に甚しき氣分の相違を來たさしめぬ事が必要である。それには適當なる環境を提供して其の内に生活せしめ、不知不識の間に正善に指導する。各幼兒の自由遊戲並に行爲或は意志の發表等に注意し性質習癖を知る事に努める。

二、食物と運動

此時代は將來の健否の基礎ともいふべき時故殊に食物に注意し、無意識の間に偏食を矯正する。日々持參する辨當の副食品等より大略推知する事を得るが、上流家庭の幼兒に比較的營養の平衡を缺く事が多いのは注意すべき事柄である。故に我が園では毎週一回幼稚園献立を作製して實施し、食品は残さず食べる事を奨励する。かく試食會を

催す際には幼児をして料理の手傳、食卓の裝飾、食器の用意等をなさしめ、自然に協同精神、社交の趣味、美的觀念、整頓清潔並に作法等の諸徳を修め、且起居動作により相當の運動も與へらるゝ等益少なくない。最近(二月二十日)園外保育を試みた。春草稍々芽ぐんだ内に餅草を見出し、種々な質問應答の後これを摘み多量に收穫があつた。翌日の晝食は例の草餅の献立とした翌日は早朝より餅草をゆでる、粉を捏ねる、蒸す、白い餅が草色に變るのを幼児は興味を以て迎へ種々の批評をして居た。食卓を圍んだ時は早や十二時であつた。次に運動を厭ふ幼児を時々見ますがそれは氣の弱いのに依るか、病身に依るが多い。強制すべきではないが、運動に興味を持つ機會を與へる事が大切である。會話や繪畫により或は園外保育時等には最もよい機會を捕へる事が出来る。又運動に變化あらしめる事も獎勵の條件である。食物並に

運動により體育の改善は或程度までは成績を收め得らるゝと信ずる。

三、家庭の事情

家庭の事情を知るは單に保育上の參考に資せんが爲であるが故に、立ちいつて調査じみた事を感じしむるは禮を失するし且反感を起さしむるものなれば、この點に特に注意を要する。

以上三項は極めて簡単な事實の如くであるが實行繼續は至難に屬する。何卒皆様の園に實施せられて居ります事を承らせて頂き且右の事項中お氣附の點を御指導頂き、大に猛進努力致し度いと存じます。

○ 東京京橋區
朝海幼稚園 千葉 ひで

本園在籍幼児は二百名で昭和四年度の修了児は百十名で御座います。新入園児も百十名許可いたします。

四月二日入園式をいたします豫定。入園兒はこれを二組に分けます。

一年保育を櫻組と稱し櫻の花を胸につけます

二年、三年、保育を菊の組と稱し菊の花を胸につけます

新入園兒のお辨當は幼兒の希望にまかせ隨意にいたします。男兒には帽子の徽章女兒にはメダルを給し、各兒一同へ上靴を貸與いたします。(以上は保護者會より支給但、會費は一ヶ月金二十錢)園といたしましては一年保育の幼兒に塗畫帖を與へ、整理箱にクレイオン。ハサミを貸與いたして置ます。保護者に對しまして印刷物「入園につき」を渡し又小冊子「躰方について」を一部づゝ添へて進呈いたします。

尙ほ家庭との連絡の爲め通信簿を渡し毎月身長體量も通知いたします。

入園後一ヶ月の後別紙の印刷物を家庭へ送り各欄へ記入を乞ひます。

本園は震災後運動場を缺き幼兒は自然物に接觸する機會がなく長い間困つて居りましたが、四月より傍らに小公園が出来ますので、それを利用する事になつて居りますから、幼兒一同さぞ満足する事と楽しみに致して居ります。

入園につき

- 一、幼兒の服裝は質素にして下さい
- 一、幼兒が長者を敬ぶ様にして下さい
- 一、毎朝鼻紙と手拭は忘れぬ様にして下さい
- 一、幼稚園へ玩具を持参させぬ様にして下さい
- 一、幼稚園へ往復の途中幼兒の欲しがるものを買はぬ様にして下さい
- 一、辨當は金屬製の丸形がよいのです
- 一、箸と茶碗は園で消毒したのをお貸しいたします
- 一、辨當袋は園に見本が御座います
- 一、帽子、辨當、手拭、マント、襟巻等へ必ず名前をつけて下さい
- 一、幼兒の事に就きましては電話にて差支へがありませんか

らドシ／＼と御相談下さい

一、御父兄は度々幼稚園へお出で下さいまして幼児の遊んで

居る所を御覧下さい

一、幼児の扱ひ方は園と同じ様に願ひます

一、外出から歸つた時は必ず手を洗わせて下さい食前後に食

鹽水でうがいをして下さい(但微温湯)

一、何事も御遠慮なく御相談をお願いいたします

一、附添人は一週間以内に離すことにお願いいたします

幼児の家庭状況しらべ

御両親は お丈夫で すか	御兄弟は 何人です か	生後大病に かゝつた事 があります か、又は持 病がありま すか	朝起る時間 と夜寝むる
御祖父父母 はありますか	母乳でし たか	お友だち の良否を おしるし 下さい	お宗旨は

時間をおし るし下さい	長所と短 所をおし るし下さ い	い	何の遊びが 一番すきで すか、玩具 は何を好み ますか	お菓子と 果物は何 がすきで すか	お小使は つかいま ずか、金 高をお記 し下さい
何ですか	雇人は何 人ですか	幼稚園を好 みますか、 不可の時は 理由をおし るし下さい	入園前と 入園後は 如何です か	園への希 望をおし るし下さ い	

○ 成田幼稚園 山口 政子

昭和二年の春入園致しました幼児は満三年の保

育も夢の間に春秋を送り、今は自分の事は自分ですると云ふ習慣も養はれまして、愈々来る四月目出度學びの庭へ送る事となつた保育修了生は、三拾名で御座います。

幼兒の入園は四月と九月の二期で、二ヶ年以上在園の者に限り入園を許すと云ふ、園規に基きましてこの四月に新たに迎へます、幼兒も極めて平易な調べに依りまして選定し、昨年既に入園今後二ヶ年在園の組へ拾名三年保育の組へ貳拾名、丁度保育修了者の數と同様になるので御座います。

園兒の總數は九拾五名が定員で年長の組一、年少の組一、中の組を二に分ちまして四組に編成致します。

明治三十八年日露戰役記念として、創立された當園はその頃町役場の戸籍簿に依りまして、入園兒を調べ家庭へ入園を勧誘したと云ふ笑話も御座いますが、本年は第二十五回の保育修了を見

る事となり、可なり長い歴史を持つ事となりました。

保育修了式は三月二十日、入園式は四月七日であります。四月の新入兒を迎へるに當りましていつも仕合に感じて居ります事は、園舎なり庭園が大自然に包まれて居る事であります。毎年新入兒を迎へます頃は、澤山な花も綻び、芝生は綠に雜草は密生して萌え出てゐます。

自然はこうして總ての春の装ひを整へまして、幼兒を迎へて呉れるのであります。そうして四季を通じていろいろの方面から無言の教へを垂れてくれます。

昨年特に造りました隨所に移動の出來ます運動具、五六種庭に置きまして幼兒を喜ばせて居ります。

年長の組の試みとして昨年から裏山の廣庭で風揚げを始めましたが、大變面白く又ネットボール

も男も兒共通のお遊びとして、何れも體育上よいお遊びと信じまして益々廣め度と存じて居ります。

四月よりは古い幼兒に新らしい幼兒を加へまして、家庭では味ふ事の出來ぬお友達關係や、珍らしいお遊びをどんなに樂しむ事かと、今からその時を想像してよりよきお友達となり、まじめなそうして丈夫な小供とし學校へ送り度ものと心がけて居ります。

新入兒を迎へますに當りまして、皆様へ特に申上げる程度の計畫もなく如何とためらひましたが、度々のお手紙を頂きまして餘りにも御無禮と存じましてお詫まで申上げました。

○ 大阪市立 御津幼稚園 大道 てる

希望者と定員の超過

第三學期が始まると、其日に入園募集を始めま

す。すると、定員の百二十名は一週間を出でずして超過いたします。本年も八日に募集の掲示を出して、十三日には既にべ切の札を貼りました。この外に十名餘の年長組の補缺を取ります。是れで希望者の約四分の三と見て居ります。即残りの四分の一の四十名餘は、入園出來ないと言ふことになるのです。これが私共としては一番苦しい立場にある譯です。

此の百二十名を四組に編制して、全部二年保育をいたして居ります。十二坪の保育室に三十名は中々無理ですが、大都市の幼稚園としては、是れも致し方ないことと思つて居ります。

體 格 檢 査

さて此の希望者の全部を、三月の中頃に呼び出して體格検査を行います。腺病質者、皮膚病、眼疾、其他傳染病等を持つて居るものには、よく理

由を解いて、待つて貰ひます。併し斯う言ふものは僅少で、入園難を緩和する程度には行きません保護者の方々には誠に御氣の毒な次第ですが、幼稚園としても、困つた事です。幼い四五歳の幼児にして既に斯うした入園難があるのですから、本當に痛々しいことです。

家庭の情況及幼兒保護者についての調

斯うしてやつと入園の許可を得た者に對しては、再び幼兒同伴母親を呼びまして、受持の保姆が懇談的に、家庭の情況や養育の方針を尋ねながら、母の子供に對する教育的態度や、幼兒の個性の大體の様子を見る一方、保姆との親しみを造ることにして居ります。斯うすることによつて、大體家庭なり、母なり、幼兒なりの様子を知ることが出來、入園後の取扱ひ上誠によい參考となります。

入園式と保護者會

家庭の調べが終りますと、入園式に先立つて保護者會をいたします。而して幼稚園とは何う言ふ處かと言つた事を話しまして、教育上の打合せを致します。かうして保護者に教育上の心の準備を與へましてから、入園式を致して居ります。

入園式は毎年四月の八日頃に致します。勿論舊幼兒の保育は一日から始めて居ります。其れ迄は前述の様な仕事や準備で相當の時日を要します。それに舊幼兒も、年長組になつて未だ落付いて居ませんので、此の位日子を置いて新入兒を迎へることは、相方幼兒に取つては好い事だと思つて居ります。

入園式當日は、舊兒と新兒との挨拶が済んだ後で、舊幼兒が遊嬉をして見せることにして居ります。是れは、新入の幼兒達をして、幼稚園生活を

楽しいもの、嬉しいものと感じさせ、而して子供達に親ませ度いためにして居ります。

つき添ひについて

入園式の翌日から一人で来る様なもあります。が、まあ一週間乃至半月位の附添ひを許して居ります。室外に待つて居ることによつて安心して居るのが普通ですが、中には自分の側から放さない様なもあり、又一學期間も離れない子供もあります。これは何うしても保姆と家庭の努力に俟たなければ、相當早い効果を見ることは出来ませんが、主として幼児の性質に依るものですから、氣を長くして保育することだと考へて居ります。一番私共の困ることは、今少し根氣よく子供に附いてやつて下されば、そして同じ幼稚園にのこして歸るにしても、子供に得心さしてから歸へつて下さればと思ふのに、かくれて歸へられた後で、

子供が地駄ん駄を踏んで火のつく様に泣かれることとです。其の爲めに折角泣き止んだ子供迄が、又思ひ出して泣き出す、あちらでも此方でも、仕舞には若い保姆などは、途方にくれて自分も泣き出しさうになつて居るのなどは、何處でもあることだと思ひます。その邊の事は保護者會によく言つて、送り迎へをする人に知らせておいて貰ふことだと思ひます。

○ 東京市本郷區 小向 喜美 第一幼稚園

一休和尚を真似るにはあらねども、目出度もあり目出度もなし、嬉敷もあり嬉敷もなしと云ふ様な感じのするのは年度の終りでありますまいか。日頃手馴れし幼児が規定の保育を終つて是から小学校に進むと云ふ時之が目出度なくて何としませう。さりながら今日を限りに別れを告げなければならぬと思ふと一寸嫌な心持も致します。然し次

には新入幼児が入替つて門をくぐろうとして待つて居ります。是又何と嬉しい樂しみな多望な事とせう。今年こそは前年の失敗の經驗を繰返さぬ様充分注意して見ませうとは先第一に思ひ浮びます。次には何ふ云ふ方法を以て之を迎へたらば幼児をして此幼稚園を樂天地と感ぜしむることが出来るだらうか。斯様に考へ來ると種々様々の空想が目前にちらつきます。今之を排列して見ますと。

イ、在園幼児に今から新らしいお友達の出來ることを樂しんで待つ様宣傳して置ませうか。

ロ、疊の部屋を作つて此處で家庭的に一二週間ばかり自由に遊ばせて見ませうか。

ハ、幼児の好みに適する玩具を種々取揃へて置ませう。

ニ、入園第一歩の感じをよくさせる爲に玄關丈でも出来るだけ美しく裝飾して見ませうか、

ホ、庭に季節の草花を集め植えて樂しませせうか。

ヘ、外遊びの玩具は何がよいか。

ト、室内はどういふ風に飾り付けをしませうか
チ、蓄音機のレコードを幼児向のものを集めて置ませうか。

リ、室内の机の形はどれがよいか、其排列はどうしたらよいか、どの式にしようか。

ヌ、唱歌はどふ云ふものを撰ばうか、遊戲はどういふものを用ひませうか。

ル、一日も早く幼児が保姆に園に馴れるやうにするには如何なる態度、如何なる方法を以てするか、先其研究申合せをして置ませうか。

斯様に思ひ浮べて來ると限りありません。兎も角も保姆は幼児に對して愛の一字を忘れぬ様、而も仔贖の愛でなく眞の愛を以て進んで行つたならば大過はないであらうと云ふことに到着致しま

した。

○ 東京市富士見尋常
小學校附屬幼稚園 小杉 さと

櫻咲く花の都の我が大君の御代、靖國神社の邊りなる富士見小學校附屬幼稚園の新入園児を迎へての経験なり考案なりを話す様にと、お茶の水幼稚園編輯部より原稿用紙まで送つて頂いたわけでございますが、私の経験や私の考案等申上げた處で何の御參考にもならぬと思ひますが、折角の仰せ故一言申上げて見たいと思ひます。

今茲昭和五年四月の新入園児を迎へますのは私の保母となりましてより第二十七回となります事、新入児の入園前の希望は實に豊富なものであらうと存じます。或はお友達が大量出來て嬉しいとか、或は先生達に遊ばして頂けて楽しいとか或はブランコに乗つたり、這り臺を這つたりして

楽しく思ふ者もありませう、或は四角の積木や三角の積木や澤山の玩具が使へるだらうと、楽しんで居る子もありませう。其又反對にお友達にいちめられはしないか、或は先生に叱られはしないか又唱歌が歌へないかしら、又遊戲が出来ないかしらと心配して居る子もあるかもしれません。園児の父兄には華族あり、官吏あり、軍人あり、銀行家あり、實業家あり、會社員あり千差萬別の家内より定員百二十名を取つて松竹梅の三組と分ち松組は全部、竹組は三分の一位で毎年七十名内外の修了児を出し、梅の組は全部後に残ることにあります。

此等の園児を如何にして満足させて率ゐて行くかと言ふことに就きましては、實に私は千思萬考して教育指導の重大なる責任を心配致さずには居られません。夫れ故に私は始めお父様やお母様が其のお子達をお連れになつて、お會ひしますと、順

々にお子達の現在と既往とに著しき御持病やお氣質等を能くお聞きしまして、午前十時頃式場に集まり津田校長先生をお迎へして、幼稚園の方針のお話をして頂きます。それより私からもお父様やお母様へお子達に朝と晝と晩とのお嗽は必ずお忘れなきように御注意を願ひ、お辨當や帽子や、ハシカチには必ず名前を付けて頂くこと、お鼻紙も必ずお持たせ下さること、上靴と下靴とは必ず、別にして各々の履物箱へ入れることや、其の他お菓子やお玩具等は一切お持たせにならぬ様に、いろ／＼御注意致しあき、尙又御病氣缺席の時は書面なり、口頭なりにてお届を願ふ様に致し、殊に御家庭に於て御注意を願ひ度きは、學校と違ひまして幼稚園は兎角休みやすいものでありますが、學校と同じく御出席せられます様にとくれ／＼お願ひを致して式は終ります。それから本校より幼稚園を通じて母の會の設けあることをお話を致し

て、其の規則書を配付致しまして又幼兒調査表と申す刷り物や、家庭の年中行事及幼兒の自由遊びの種類と言ふ刷物を保護者に上げて、其の返書を纏めて之を調査いたし家庭と協力して、幼兒を教育致します。第一に體育を重んじ自由遊びの中に自然界や、人事界のいろ／＼を観察させて、興味心を養ひ善良の習慣を作るを以つて目的といたして居ります。尙又御參考として別紙幼兒調査票と家庭の年中行事表とを相添へまして、御一覽に供し、新入兒保育の一斑を御報告致します。

×

×

×

×

×

×

(註)

おたうねのことから

御
返
答

御返答

[illegible]

Age Group	Percentage of Respondents
18-29	85%
30-49	80%
50-69	75%
70+	70%

(祖)父(實)
父あらば無_レ
_二を消す以下之ニ準ス)

人 妹 人

人	男	人	女	人
1	1	1	1	1
2	1	1	1	1
3	1	1	1	1
4	1	1	1	1
5	1	1	1	1
6	1	1	1	1
7	1	1	1	1
8	1	1	1	1
9	1	1	1	1
10	1	1	1	1
11	1	1	1	1
12	1	1	1	1
13	1	1	1	1
14	1	1	1	1
15	1	1	1	1
16	1	1	1	1
17	1	1	1	1
18	1	1	1	1
19	1	1	1	1
20	1	1	1	1
21	1	1	1	1
22	1	1	1	1
23	1	1	1	1
24	1	1	1	1
25	1	1	1	1
26	1	1	1	1
27	1	1	1	1
28	1	1	1	1
29	1	1	1	1
30	1	1	1	1
31	1	1	1	1
32	1	1	1	1
33	1	1	1	1
34	1	1	1	1
35	1	1	1	1
36	1	1	1	1
37	1	1	1	1
38	1	1	1	1
39	1	1	1	1
40	1	1	1	1
41	1	1	1	1
42	1	1	1	1
43	1	1	1	1
44	1	1	1	1
45	1	1	1	1
46	1	1	1	1
47	1	1	1	1
48	1	1	1	1
49	1	1	1	1
50	1	1	1	1
51	1	1	1	1
52	1	1	1	1
53	1	1	1	1
54	1	1	1	1
55	1	1	1	1
56	1	1	1	1
57	1	1	1	1
58	1	1	1	1
59	1	1	1	1
60	1	1	1	1
61	1	1	1	1
62	1	1	1	1
63	1	1	1	1
64	1	1	1	1
65	1	1	1	1
66	1	1	1	1
67	1	1	1	1
68	1	1	1	1
69	1	1	1	1
70	1	1	1	1
71	1	1	1	1
72	1	1	1	1
73	1	1	1	1
74	1	1	1	1
75	1	1	1	1
76	1	1	1	1
77	1	1	1	1
78	1	1	1	1
79	1	1	1	1
80	1	1	1	1
81	1	1	1	1
82	1	1	1	1
83	1	1	1	1
84	1	1	1	1
85	1	1	1	1
86	1	1	1	1
87	1	1	1	1
88	1	1	1	1
89	1	1	1	1
90	1	1	1	1
91	1	1	1	1
92	1	1	1	1
93	1	1	1	1
94	1	1	1	1

同居人	男	人	女	人
1	1	1	1	1
2	2	2	2	2
3	3	3	3	3
4	4	4	4	4
5	5	5	5	5
6	6	6	6	6
7	7	7	7	7
8	8	8	8	8
9	9	9	9	9
10	10	10	10	10
11	11	11	11	11
12	12	12	12	12
13	13	13	13	13
14	14	14	14	14
15	15	15	15	15
16	16	16	16	16
17	17	17	17	17
18	18	18	18	18
19	19	19	19	19
20	20	20	20	20
21	21	21	21	21
22	22	22	22	22
23	23	23	23	23
24	24	24	24	24
25	25	25	25	25
26	26	26	26	26
27	27	27	27	27
28	28	28	28	28
29	29	29	29	29
30	30	30	30	30
31	31	31	31	31
32	32	32	32	32
33	33	33	33	33
34	34	34	34	34
35	35	35	35	35
36	36	36	36	36
37	37	37	37	37
38	38	38	38	38
39	39	39	39	39
40	40	40	40	40
41	41	41	41	41
42	42	42	42	42
43	43	43	43	43
44	44	44	44	44
45	45	45	45	45
46	46	46	46	46
47	47	47	47	47
48	48	48	48	48
49	49	49	49	49
50	50	50	50	50
51	51	51	51	51
52	52	52	52	52
53	53	53	53	53
54	54	54	54	54
55	55	55	55	55
56	56	56	56	56
57	57	57	57	57
58	58	58	58	58
59	59	59	59	59
60	60	60	60	60
61	61	61	61	61
62	62	62	62	62
63	63	63	63	63
64	64	64	64	64
65	65	65	65	65
66	66	66	66	66
67	67	67	67	67
68	68	68	68	68
69	69	69	69	69
70	70	70	70	70
71	71	71	71	71
72	72	72	72	72
73	73	73	73	73
74	74	74	74	74
75	75	75	75	75
76	76	76	76	76
77	77	77	77	77
78	78	78	78	78
79	79	79	79	79
80	80	80	80	80
81	81	81	81	81
82	82	82	82	82
83	83	83	83	83
84	84	84	84	84
85	85	85	85	85
86	86	86	86	86
87	87	87	87	87</

同居人 男 人 女 人

第一問 御家庭ニ於テドシナオ遊ビヲナサイマスカ (一九一三年中三)

第二間 左記ノ年中行事ニツキ何カオ催シヲナサイマスカ(左ハ女) 右ハ男)										第二間 其ノ他オ子様方ノタメニ特ニオ催シニナツタ事柄ガオア																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
一	元日祝ひ	67	七草祝ひ	53	21	32	お鏡開き	45	16	29	二	節分	55	23	32	午	8	3	5	紀元節	35	13	22	陸軍記念日	7	1	6	春季皇霊祭	24	11	13	靖國神社祭	38	15	23	お釈迦様(花まつり)	9	3	6	海軍記念日	5	5	5	紀念日	5	5	5	端午節句	60	22	38	皇祭武天	16	5	11	天長節	59	29	30	ひな祭り	59	30	30	四月神武天皇祭	16	5	11	五月端午節句	60	22	38	六月地久節	19	6	13	七月七夕祭り	14	4	10	お盆	54	23	31	明治天皇祭	25	9	16	八月お休中の旅行など	47	18	19	天長節	38	14	24	九月月見	30	13	17	秋季皇霊祭	26	11	15	天長節祝日	31	13	19	新嘗祭	5	4	1	十月神嘗祭	5	3	2	十一月明治神宮祭	24	6	18	お餅つき	31	14	17	お年越	40	18	22	十二月クリスマス	19	7	12	第三間 其ノ他オ子様方ノタメニ特ニオ催シニナツタ事柄ガオア	15	23	16	靖國神社祭	7	2	15	講	7	2	15	西の市	6	2	14	新嘗祭	5	2	3	お年越	40	18	22	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1	神社参詣	1	1	1

○ 東京府女師 附屬幼稚園 ト部 たみ

昨日今日の特別のお暖かさで、晝前後からは、一人残らず庭に出て思ふ存分遊びまはる幼児達をみますと、未だ二月の二十四五日といふのに、早や新入園児を迎へた四月初めの有様が目にうかんで來て、何とはなしに胸がをどつてまゐります。

本年は入園幼兒の調査を二月十八日に済ませ、翌十九日にその結果入園許可の者の發表を致しました。

當園に入れば其儘附屬小學校へ進まれる組織の故か、應募者の非常に多い爲め、止むを得ず調査する毎年の事ながら、つくづく此の事がなかつたら——此の子も此の子もみんな一緒に遊びたいのに——といふいとほしい心持にちそはれるのが是で御座います。

二月二十四日に新入園児の保護者呼出をして打

合せを致しました。當園の性質、保育方針、保護者として心得居られたき事、幼兒の携帶品、服裝の事、遊具其他保育上必要品の事、登園下園の時間、缺席届の事、傳染性の病氣の時の心得、附添心得、附添人を附ける時の心得等につき本年は要項を刷物にして、その中特に必要とする事を主事及保姆から話しました。なほ幼兒一人一人に就き話合をした時もありましたが、今年はそれを入園後に度々する事として、幼兒調査用紙を渡し三月上旬迄にその調査事項記入の上各家庭から園に届ける事と致しました。調査事項は本誌二八卷（昭和三年發行）五月號に記載させていたゞいたものに少しく趣をかへたもので御座います。なほ同時に本誌二八卷三月號に四月の幼兒生活の見出しで、新入園児を迎へるにあたつての心覺として極くつまらない事ですが要項を記しました。此度の題目に對するお答へとして御參照願へましたら

幸に存じます。

× × ×

いつも新入幼児を迎へようとする毎に、清新の緊張味と、教へ子の母としての悦び楽しみに満たされ、いそ／＼と新學年の計畫は致しました。そしてつく／＼その母の心、その幼児の心になつて迎へる事にとめました。

今年はそれにも増して一層心のうごきの深刻に痛切なるものがあるので御座います。まあ手前勝手といひませうか、やつぱり我が子となるとあらそはれないもので御座います。生れて初めて幼稚園にいかうとする我が子を想ふ私の心を内省すると、此の感動此の母の感激をこそ保姆の心として一人一人の幼児を迎へたいと願ふのが、やみがたいまごころなので御座います。

母の膝下で次から次へと遊びを求めて活動する幼児の混然とした生活、然も総合的な決して時間

割をきめられて遊んでゐるのではない遊びを見る時、事毎に純眞な質問を發してやまない態度をみる時、玩具に見入つて或は何か作らうとして眞剣にその事に没頭してゐる様をみる時、どうかして四月からの生活も出来るだけ此の儘の生活の延長であらしめたい、發展であらしめたいと願ひます。

保姆さんだけに都合のよい型にはめてしまひたくない。先生のお指圖がなくては遊ばれない子、何かかき度くても思ふ様に紙のいたゞけない子、改まつた形や時間でなければ歌も歌はれない子になつてしまはれてはかはいさうでなりません。家庭で矯正したいと思ふ幼児の缺點を先生にも、母と一つになつて正しく導いて頂く様、幼稚園だけよいといふよそ行きの子にしてしまひたくないと思ひます。

こんな事を考へる時、新入幼児を迎へる先生は

幼児の昨日までの家庭に於ける遊び、即ち生活をしてその心の生活をもつとくよく知つてそこから出發しなければと——誠によく判り切つた事を重ねていひ度う御座います。

どんな設備を、どんな環境を、どんな保育材料を、どんな方法でと保姆としては只今一番眞剣に考へて工夫し準備する事は、何をあいても大切と存じますが、その源ともなるべき母親としてのこの心持を心として、幼児一人一人をそして凡ての子を抱擁しようと、兩手をひろげ心を打ちひらいて待ちかまへ度う御座います。

○ 福島縣郡山幼稚園 一 保姆

天使の様な幼児を新らしくお迎へして、『先生』『先生』と慕はるゝ尊き使命の下に、働かせて頂きます私達、考へますれば考へます程、其任の重きを感じられます。

『正月が来て、お年が一つ殖えた、今年は幼稚園に行くのだ』と待ちに待つて這入つて来るお友達です。『幼稚園は好きな所』と心から喜んで通つて来て呉れます様に、申分のない保育を致します事は私達の當然の務めでございます。しかし此事は言ふには易く實際には難しい、亦簡単なやうで、なかなか容易ならぬ業でございます。況して眞に一人々々の個性に即した、誤りのない保育をしたいと念じます時に、更に一層の不安を感じまして、いつもいつも相濟まぬ思ひに滿されて居ります。

毎年入園式の折には、主事先生から親さん方に『子供の心を固くしないで下さい』『幼稚園は家庭の延長したもので決して不自然な事を強いませぬ、お家に居られた時の心持ちをかへたくない、たゞお友達が今迄よりも大勢居て、いろんな事をして遊んでくれる所。先生はまたお母様と同じ心

で、よくお面倒を見て上げる方、どんな事でも遠慮せずにお話なさい』等といはれますが、その度に何んとかくスグツタイ氣もいたしますが、亦大きな聲で、『出来ます限り、天與の靈芽を害ふことなしに、日光のやうな暖かさ、誠のあふるゝ潤ひと、情けのこもつた柔かさによつて、圓滿なる伸展を遂げさせて上げますよ。どうぞ親さま方も御援助下さいませ』と、叫び度くも思ひます。

しかし私達が、譬令このやうに思ひましても、子供達は仕組の變つた建物から、眞底の知れぬ先生、親しみ合はぬお友達の様子を見て、あど／＼して不安さうな様子をしてゐるのでございます。そして始終母親からは『幼稚園は家とは違へますぞ行儀をよくせよ、先生の仰る事をよくきけよ』と鹿爪らしい注意をされてゐる事を思ひます時に、子供心にも一種の緊張感を覺えずには居られ

ぬのであります。家戀しさ、母なつかしさに、幼兒の笑顔は自然に曇り勝ちになります。こうした雰圍氣の中に於ける保姆は、一切の俗情を清めていとも純潔なる母親となり、極めて明かなる愛を以て子供を抱擁せねばなりません。子供は今何を求めて居るや、何を希望して居るやを深く洞察いたし、その慾望を叶へてやり、その個性を伸べてやらねばなりません。それには幼稚園自らが、門外へ歩みを運んで、家庭へ家庭へと繋がれて行かねば、一人／＼の保育はおぼつかないと存じます。我が園では、兎に角、入園願書を家庭から請求されました時に、『幼兒日常の聴き取り書』といふ別紙の印刷物をお渡して、入園前に、既に家庭に於ける幼兒の生活状態を豫め知つて、成るべく小勢の組を澤山作り、一人々々の幼兒に、適切な幼稚園生活を提供したいと念願してゐます。悲しいかな、土地の具合と、經費の都合とで、存分の事は

出来ませんが、室内の遊具園庭の運動具等、よく調査いたしましたて、敷を殖やすやら、繕ふやらいたし、花壇の整理など、なかなかに努力を惜まぬのであります。室内の裝飾には、とり分け心を用ひ、些細な點にも深き注意を拂つて、家庭らしさを十分に室内にとり入れますやう、努めます。見るからに明るい氣分。觸るるからにやわらかい感じのする室としてしつらひます。

こうして建物の家庭らしからぬ點を補ひたいと思ひます。そして幼兒達の心の取扱としては、放課後毎日保母職員が寄り合ひまして、その日の出来事を語り合ひ明日の仕度に移ります。以上とまりのない事を申上げてお答へいたします。

×

×

×

×

×

×

の組 氏 名		一	二	三	四	五	六	七	八
聴き取り書		食事は日に三度正しく食べますか。	挨拶は、來客の時或は長上に對しよくいたしますか。	幼稚園に來ることをのぞんで居ますか。	見た事聞いた事をよく話しますか。	金銭はつかひますか。毎日いくら位與へますか。	自分の品物をよく始末しますか。	遊びは内外どちらの遊びを好みますか。友達を集めて來ますか。	玩具はどんな物を好みますか。

九	お暮事と異實とはどちらが好きですか。
一〇	お宅のお宗旨は何ですか。
一一	夜は誰れとねますか一人ですか。
一二	幼稚園への御希望をさかせて下さい。

昭和五年

私立郡山幼稚園

○ 東京市番町小學 校附屬幼稚園 檜山 京子

今(三月)私の心持は送り出さうとする子等の一人／＼の上に、いつばいに働いてゐます。「おはよう」と呼びかけられてから、歸て行くまで、更に仕かけて行た製作物に「明日までこはさないでね」とたのまれた砂場や積木の構成物に、出しつばなしにした缺に。

一方事務的には、日に日に机上に積まれて行く入園願書の紙片を受付け、幼児名を機械的に讀みながら、備品の修繕に、玩具の買入れに、新學期の爲にといふ事は念頭にありながら、それがまことに、習慣的と云ひますか、惰性的と申しますか不忠實な心の狀態に居ります「新入幼兒を迎へんとして」かういふ題をいただいて私は、ばつたり行き詰りました、なぜなら私の心はあまり今の太郎さんや、花子さん達を眺めすぎて、そこにばかり生きてゐましたから「幼稚園は満四才から満七才までの三年保育にはなれないのかしら」など、思ひながら今の幼兒の行く手ばかりを見てゐるので。

ここまで書いてゐた私は「今下さるには無理な題なんだ」と思つてゐました。けれど月刊雑誌の三月號としては、當然などいふより適材適所といふべき、金的の様な題であるとも思ひました。そ

してこゝまで書いて来て、「ようこそ、この題を出して下さつた」と感謝する心持になりました。おそらくこの題に刺戟されない私は、保育完了式の日まで、或はもつとあとまで忠實にこの事を考へなかつたでせう。元氣よく行きすぎた子供の後姿ばかり眺めてゐたでせう。

そして四月一日、つかみ所のない多忙と、疲れた心持で、事務的に下駄箱に名札を貼たり、室に新しい又は繕た玩具をならべても、心持に於て、幼児に相對するには申譯ない、重みのない、うるほひのない、新鮮さのない状態を笑顔で、ごまかして、表面的事もなげに新入幼児を迎へたかもしれない。私は今これを書きながら「四月になつたら幼稚園へ行くんだ」とお母様からも聞かされ自分もいろ／＼な望や想像を持てゐる子、又お母様だけが「どうしても幼稚園へいれよう」と思ひいらしつて當人は、そんなにも思はずにゐる子、お

兄さんの行ける幼稚園へ、四月一日になれば私がいられるんだとカレンダーの紙を早く1といふ字にしたがつてゐる、等はつきりと、入園しようとしてゐる幼児達の事を考へる事が出來ます。

さうして私自身がはじめて學校へあがつた日（不幸にして私は幼稚園児といふ黄金生活をしませんでした）又あがる前の日自分の想像を思ひ出します。

「學校といふ所には黒板といふものがある」と母が話してくれたので「黒板つて、何？」と聞いたら「黒い板でそこへ白いハクボクといふもので先生が白い字をおかきになるのだと」説明されたので、自分で板といへば大工さんがカンナをかけてゐる細長い板（私の家の隣に大工さんがゐましたので）を想像し、自分が母から書いてもらふ紙片から推して、小さい板片を想ひどんなものかしら、と第一コクバンといふ名が耳新しく珍くてた

まりませんでした。いよく學校へ行た第一日、
見ると板といふよりは大きな壁の様なものです
が、そこが眞黒で先生が白い字をお書きになるか
ら「あれが母様から聞たコクバンなんだな、なん
といふ大きなものだらう」とそこへ書かれるもの
よりコクバンそのものに氣をうばはれてゐた小さ
な子供。何十年前かの自分の心持をたどつて見て
時代は違ひ、環境は異り想像に於ても好氣心に就
てもずつと元氣に、自由な昭和の幼児達が、はじ
めて幼稚園へ來てうける印象、そこには行き届い
た器物、玩具の用意の外に、何よりも大切な私達
の心の準備が要る。來る子供の中には身體中を想
像にして希望にして居る。それに室内の準備だけ
出來てゐるのでは、劍道だつたら段違ひで刀合は
出來ない筈だと思ひました。

「新入幼兒を迎へんとして」こんな大切なこんな
適切な題を出して下さつた事を厚く感謝すると同

時に、これを書いてゐた心持を忘れずに、未知の
私の幼児達の爲に出来る丈心の備をしようと思ひ
ました。

(昭和五年三月)

宵闇に浮かめる森や木の芽時

虚

子

暖の椿見ながら午餉かな

爲

王

醫師の立場より見たる幼稚園と急性傳染病（承前）

醫學博士 島

信

四、流行性耳下腺炎（阿多福風）

本病は春秋に多く、散在性又は流行性に學令兒童を好んで侵すもので幼稚園小學校寄宿舍等に流行することがある。乳兒及大人の罹患することは稀である。本病に罹患すれば終生の免疫が得られる。

潜伏期は長く十八乃至二十二日である。即ち感染の機會があつてから忘れた時分になつて發病して來るものである。

前驅症は有ることも無いこともあつて不定であるが多くは一兩日不機嫌、食慾不振、頭痛、嘔吐

下痢等を來し或は此と同時に發熱する。

特有な症狀は耳下腺の腫脹と壓痛とである。兩側に來ることゝ一側だけに濟むことゝあるが、多くは兩側で然かも一方の腫脹が局度に達した頃から他方が腫れて來る。腫瘍の大きさは不定であるが下顎骨下行枝と顙顬骨の乳嘴突起との間の耳下腺の部位に限局し時としては上下に擴がり耳朶は上方或は側方に壓排され顔貌は特有な阿多福となる輕症では疼痛はなく僅かに壓痛があるだけであるが、時には疼痛を訴へ殊に開口咀嚼時に疼痛を訴へる。熱は腫脹が始まると同時に三十九度内外に昇り二三日で下降し同時に腫脹は漸次減退する。

一側性のものは五六日兩側性のものは十日乃至十二日位で全快する。時には二三週後に再發するところがある。

合併症として稀ではあるが男兒では睪丸が腫脹して疼痛を訴へることがあり、女兒では卵巢が腫脹して腹痛を訴へることがある。

傳染は空氣傳染で人から人に傳染するものであるが病原菌は今日尙不明である。

五、赤痢及疫痢

赤痢。此は主に夏季に流行する小兒に多い傳染病であるが散在性には冬季でも比較的多數罹患するものである。病原菌は赤痢菌であるが此れは多種あつて一様ではない。

傳染は大便に排出された微菌が蠅其他の媒介で汚染された飲食物の攝取により或は手指が汚染され徑口的に起るもので赤痢菌が大腸に繁殖して發

病するものである。

幼兒は屢々高熱痙攣で發病することがあるが一般には下痢で始まる。大便は初めは粘液性軟便であるが次で粘液血便となり次で膿性粘血便或は膿性粘液便となり極の花の様な惡臭のあるのが特徴である。排便時下腹部の疼痛即ち裏急後重（シズリ）があり排便量は僅微で回数多く時には一日五十回以上に及ぶことがある。熱は始め四五日三十八度前後のものが續き解熱するが幼兒では初め中毒性の高熱が二三日續いて解熱し數日後又三十八度前後の腸性の熱が二三日出ることがある。重病では一ヶ月も熱が經續し衰弱が加はり患兒も醫師も弱らされることがある。然し一般には一週乃至二週で全快するものである。

疫痢。此れは名古屋の颶風病（ハヤテ）四國の早手、九州の急症等と言はれて居るもので赤痢との異同に就ては多年學會の問題となつて居る。疫痢

を獨立の疾患であるとする學者は赤痢菌と全然異
た大腸菌を病原と認めて居るのである。然し近年
は赤痢と同一疾患であつて疫痢は症候名とする學
者が多いのである。疫痢症狀を呈した患者に多く

の場合赤痢菌が證明され、又初め疫痢症狀のもの
が次で赤痢症狀を呈することが多い事と、臨床上
確かに赤痢であつて赤痢菌の證明されない場合も
多いので、疫痢症狀のある患者で赤痢菌が檢出さ
れなくても直ちに赤痢に非ずと斷言することは早
計である。此等の理山で私も疫痢は主として小腸
を侵す赤痢であると考へて居る者である。小腸に
赤痢菌が繁殖し此所を侵す爲めに中毒症狀が大腸
を主として侵された場合よりも強いのである。同
じ赤痢菌で如何して疫痢症狀を起して來るかと言
ふと此れは年令と體の素質とによつて主として小
腸が侵されるものと考へられる。即幼兒三才乃至
六才のものに疫痢が多く又丈夫さうに見へて居て

然かも抵抗力の弱い弛緩性體質と言はれて居る
「ブクブク」肥りの幼兒が侵され易いのである。

本病は赤痢同様夏季に多いが冬季にも比較的多
いものである。

症狀としては元氣よく遊んで居た小兒が急に元
氣がなくなり「ゴロゴロ」する様になり急に發熱す
るもので多くは四十度前後となる。皮膚は蒼白、
四肢厥冷、脈搏微弱頻數となり眼球上竄し痙攣を
起し意識は溷濁し嗜眠乃至昏睡狀態となる。始め
多量の軟便を出すことが多く後は黃色或は縁黒或
は縁褐色の液粘便となり血液を混ずることはあつ
ても僅微で裏急後重を伴はない。又便の回数も少
く一日四五回である時には水樣便の頻回排出され
ることもあるが稀である。多くは嘔吐を伴ひ初め
は食物の殘渣次で膽汁粘液を吐し、重症では血液
を混じ珈琲殘渣樣物・混じたものを頻回嘔吐す
る。腹部は緊張弱くなり綿の如く軟くなる。非常

に急激に経過するもので悪性のもものでは發病後十二時間以内に死亡することもある恐ろしいものである。従て早期に充分の手當をすることが必要で手當が遅れれば遅れる程豫後の悪いものである。

赤痢疫痢何れの場合に於ても未熟の果物不消化物の攝取、過飲、過食、寝冷等が誘因となるものである。

豫防としては患者の隔離が必要なことは勿論であるが平素便所の消毒を怠らぬ様にし夏季には蠅の驅除に注意し小兒には殊に夏季には家庭に於て調理したもの以外は飲食せしめぬ様にし飲食物の調理に注意し調理者は勿論食物を取扱ふものゝ手の消毒を嚴重に飲食物の汚染されぬ様にし過飲暴食を嚴禁し寝冷をさせぬ様胃腸障害ある場合には輕い内に早く完全に治療して置かねばならぬ。又大人の赤痢は非常に軽く済むことがあり一日數回下痢して居るだけで其れが赤痢であることがあり

此れが幼兒に傳染して赤痢疫痢を起すことが往々認められるから大人が下痢をして居る時には單なる腹下しと油斷せず早く全治せしむる様醫療を受け殊に便所や手の消毒を嚴重にすべきである。

六、腸チフス及バラチフス

バラチフスにはA、Bと二種あるが此れは病原菌の性質が異なるもので腸チフス及バラチフスA、B何れもチフス菌屬で起るもので症狀は大同小異である。概してバラチフスの方が輕いが経過も同様である。赤痢が大人に軽く小兒に重いのと反對にチフスは一般に大人に軽く小兒では軽く腸出血等を起すことは殆どないと言つてよい程である。學令以上の小兒に多く幼兒には稀である。此れ幼兒に於ては感染の機會少き爲めである。

チフスの傳染は經口的に起るもので患者の大便に排出されたチフス菌によりて汚染された飲食物

によつて傳染するものである。

症狀は頭痛、倦怠、食慾、減退睡眠不安等の症狀を以て發熱する。熱は徐々に罹り一週乃至一週半の後四十度前後となり朝夕一度以内に弛張する稽留性熱となり十日乃至十八日位續き漸々解熱する。脈搏は大人チブスに於ては高熱に比して緩徐なるが特徴なれども小兒に於て脈搏は熱に相當して多いのが普通である。強い神經症狀即ち嗜眠譫語等を起すことがあるが大人に比して少い。時には腦膜炎症狀を起すことがある。下痢、嘔吐、鼓腸等胃腸症狀の強いこともある。要するに小兒チブスは大人の場合の如く一定の症狀なく不定で診斷困難で不明の熱が續くので疑ひを起し血液検査によつて始めてチブスの診斷される様な場合が屢々ある。

豫防法は赤痢と同様である。即ち飲食の注意と患者の隔離とによるのである。(未完)

木下一雄氏著「幼稚園實際的保育學」

木下一雄氏の新著「幼稚園實際的保育學」が刊行せられたことは、我國保育界にとつて、最も欣ぶべきことである。著者は我國教育界に篤學を以て著聞する人、殊に前に東京府立女子師範學校附屬幼稚園主事として、斯の教育の實際につき豊富なる經驗を有する人であるから、其の所説の價值に就ては、敢て多言を費すまでもないが、此書の全體の組織及び問題の取捨が幼稚園教育者としての實際能力を與ふる上に最も適切なるよう苦心せられてあることは、殊に深く敬服するところである。また、此の點に於て讀者の與へらるゝ利益を信じて疑はぬのである。保姆養成所の教科書として適當であると共に、廣く保姆諸君の好參考書として奨めたい。

(倉橋生)

遊戲に對する理論の摘要

土 川 五 郎

一、音樂の伴ふ遊戲

未開の民が生れぬそもその始めから今の文化に達する迄の經路と、人が胎内に宿つて母體の内に發育する經路から生れて青期迄に進んで行く經路とは全く同じである。

子供は生れてから育つ道程は原始的で年を経るに従つて原始的が薄らぎ文化的に進んでゆく、子供に表はれる遊戲は未開の民の生活者のまゝを繰返して居る。(反復説)

未開の民には何れの民族にも歌と踊が残つてゐて、これが今日の音樂となり舞踊となつて來た。

子供は「歌いたがり」「踊りたがる」これは本能的に人間の持つてゐる力である。

此の本能的である所の力を善い方に導く事が教育である。争鬭本能を競技に導くに同じことである。如何に導くべきか。

1、生理的に心理的に審美的に即ち合理的に組立てられたもの。

2、幼兒時代の教育は人の一生を通じての基調となる就中身體に最も注意を拂はねばならぬ、幼兒の身體は未完成である、基本筋肉を動かすべき時である。脚を強くすべき時である、心臓より血管が大人に比して太いことは自然が幼兒を

發育せしめんための用意である。神經中極と末梢との調節が未完なるも然り、此の如き幼兒の身體には種々なる（大人と異なりて）注意すべき點が多い。これを合理的に其の發達を助長すべき各種の運動を必要とする。

3、幼兒は感情生活の時代である（理知の時代ではない）。これに感情教育を施すことは最も大切である。

音樂により歌によりて其の感じを體現して一層其効果を大ならしむる大切なよい時である。快感……生理的影響。趣味の發生。自發的運動……音からリズムから、運動感覺から快感を起し趣味を生ず。音と運動、リズムの説明、リズム運動の効果敏捷、正確、從順、疲勞恢復、能率増進。

4、重心……遊戲の表現は重心を捉へたもの其の曲も其の歌も然り、子供の表情と大人の表情、

子供の表情を取りて美化したるも此處に身體美を作る。

其のよき音樂よきリズムよき運動によつて心身を其の中に浸したる時、何とも云ひ知れぬ心地よき陶然たる氣持ち、其時無我の境に入り社會と離れ人を超越して神境に入り雜念を離れて淨化作用が行はる。しかも身體の發育を助長して行く、茲に遊戲の價值がある。

○行進遊戲リズムと音とによつて感じを表現す。

○唱歌遊戲、歌とリズムと音により歌の感じを表現す。

此の二つを一括して音樂の伴ふ遊戲として他の遊戲と區別するのが便利である。

●音樂の伴ふ遊戲 幼稚園小學校に課する教育的遊戲は體育を離れては存在せぬ、感情教育が之に伴ふのである、之を顛倒したり感情教育に偏しては要目に入れられた精神に戻るばかりでな

く所謂藝術かぶれの謗りは免れぬ。

其の効果は身體及精神に教育的影響を及ぼさねばならぬ。

◎舞踊と遊戲との別 舞踊に就て正確なる意義と云ふ専門的の論議はここには述べぬ。只普通に常識的に稱する舞踊と云ふ意味に於て云へば、舞踊はステージのものである。人に見て貰ふものである、鑑賞に供するものである。これを行ふ人の如何は問はんでもよい。これが墮落すると世人に迎合して野卑なものになる。

舞踊の極致は肉體美を完全に表はす迄に（體操でも遊戲でも同じことである）鍛練して行くものである。併し之れを行ふ人の人格、感情、生理等の方面に深き考慮はないでも別に咎めぬ只々其の藝術がうまく出来ればよい。舞踊の振付者は其の影響が非教育的であつても責任はない。人の子を害ねても人の心をとろかしても惡

い傾向に導いても何等責任はない。

◎遊戲 幼稚園小學校に課する遊戲はステージのものではない。見せるべく出来て居るのではない。其の見る人がつまらぬと感じても兒童自身の楽しく面白く其の結果が心身によい影響を與へればよい。即ち教育的功果の收得がなければならぬ。

舞踊は餘興的に使用する場合が多く又使用してもよい。遊戲は決して餘興的に使用すべきでない、純粹な神聖な教科である、其の本質が餘興に供するものでない、幼兒にとつて眞面目なものである。

振付者は其の作品に對して責任を負ふべきである、振付する者は其の人格と其の學力と其の研究とに於て大いに考へねばならぬ、其の人格が其の振りの線に表はれ、其の曲、其の歌の選擇が其人の品性と學力を窺知する事が出来、や

がて兒童にそれがそのまゝ移り行く事を思はねばなぬ。

◎撰擇する先生、教員保母は他人の振付したるものを擇むに當り其人相應なものを撰むのである。換言すれば其の人の人格、品性、趣味の傾向、學力が其の撰まれたものに依て知らるゝのである。

高尚な人格趣味ある人は高尚なものを撰み野卑な傾向を持てる人は其れ相當のものを撰む。遊戲は體育を離れては存在せぬ、感情陶汰と相俟つて進むべきである、音樂によりて動くもの美を以て進むもの之皆藝術には相違ない。併し其の立場は藝術を兒童に與へるのが全體の目的ではない。

◎藝術を教育に利用したのである、詳言すれば唱歌の効果を一層確實に體驗せしめつつ教育に利用したのである。

其の利用する目的は

純ならしめんため、純眞な幼兒を一層純なら

しめんため。

高からしめんため、趣味を高上せしめんため
美はしくせしめんため、身體の美を更に美に

し感情を一層美はしくせしめんため。

右三つの要件が目標で藝術を利用することを忘れてはならぬ。

三つの條件に照して之に適したものを撰べば、純な歌詞（てるてる坊主の如き）、低級な音樂（民謡俗謡）、振の野卑なもの（手あどり式寄席藝術の如き）を撰ぶことの誤まれることの明かである。

又其の表現が幼兒兒童に不適當（身體的に精神的に）のものではならぬ。

遊戲は、自然を尙ぶ、舞踊でも遊戲でも自然を尙ぶことは同一である。徒らに加工した人工的多

く加へたもの程不適當なものはない。

彼のダンスの昔の手先の如き加工せずとも人の

手は自然のままて立派に美は存在する。

○外國のものを凡てそのまま受入れる國は我國より外にはない、明治維新後舶來崇拜の傾向が大なる勢で風靡した結果、今でも外語の題目にあがれるもの少なくない。日本は進んで來た、模倣時代は去つた、國民性のある日本の創作物が續出すべきである、勿論よい所は外國より取るべきでこれを我國にアレンデせねばならぬ。

○日本在來の踊りは藝術として世界に誇るべきである。併し教育に利用する事は一考せねばならぬ、ことに音樂の基礎がちがひ、服裝殊に袖によるものであり、男性女性の表出に腰の据へ方がちがひ今の體育自然の人間の姿勢と矛盾がある。これ等を研究することがまだ不十分ではないか、ことに幼少より練習に練習を重ねて所謂

精練された振りをすぐに取り入れることは却つて藝術を害するものである。

二、幼兒の競技

相手のものと相争ふことは嬰兒の頃よりあると云はれて居る、幼兒時代も無論競争心は十分に表はれて居る。併し競技の生活として完全な形式を備へて表はれて來たのは尋常三年時代からである幼兒は自分が負けてもさして苦痛とも感ぜず勝つても左程嬉しくはない。唯環境から影響されて或は喜び或は沈む位の程度に過ぎない。然らば幼兒に競技を課することは無用であるが、之れで與へずして捨てておくべきか。

嬰兒時代より本能的に持つて居るものを善導して運動精神 (Spirit of Play) を培養し行くことは最も大切なことではあるまいか、競技の精神、筋覺の統制、注意の集中、言論の明瞭なる理解と判

斷、感官—中樞—運動神經—筋肉、此の間の交通

の敏捷、自發的運動等順次に養はれ行くときは心身兩方面の發育上多大なる効果あるべし。幼兒は勝つても左程嬉しくもない、只環境によつて少しく沈む位のものである。此の如き理由によつて競技は課さぬとか、到底だめだ張合がないと考へて競技を課さぬ事が至當な事であらうか。前に述べた如く競争心は嬰兒の時からありとすれば、それを如何に發達せしむべきかを考へねばならぬ。運動精神(Spirit of play)は如何にして培養して行くべきかを考へねばならぬ、そして競技の精神、筋覺の統制、注意の集中、感覺器官を正しく練磨、言語の明瞭なる理解と判斷、自發活動等の順次に養はれて行く様に幼兒の心理に適合したる競技を課して行くことが大切である。ここに最も注意すべき肝要なことは幼兒の競技には其の子供一人が行ふことになつて興味の十分にあるものを考へて

行くことである。

多數が集まつてなすことから興味の起る事は幼兒に取つてはあまり價値のないものである。幼兒に課する競技は如何なるものを選ぶべきか。

1、幼兒一人でなしても面白い即ち幼兒の興味を感ずるもの、換言すれば多數によつてなすことによつて興味の起るものは幼兒のものではない。

2、大人が考へて面白からんと思ふものは割合に幼兒には興味の起らぬものが多い。これ幼兒の心は大人とは異なる點から生ずる誤まりである

3、極めて簡單なものでなければならぬ。

次に記せる注意及び例としての競技はライトン氏(Wrightson)の著書(Games for children's Development)中にある最有益と信じたる部分を抄譯したるもの。

競技を實際に施す注意

1、幼兒に課する競技は幼兒をして運動精神の中に全く没頭せしむる様に仕向くことが肝要である。

2、競技は完全に簡單であることが基礎的要件である。

3、其の方法は競技それ自身よりも大切であることを忘れてはならぬ。

簡単なゲームでも複雑な方法によつて教へられた時は幼兒の頭を混亂せしめ却つて興味を失はしむ。

4、教師の最も心掛くべきことは幼兒は一時に一事である。同時に二つ以上の事を與ふるは禁物である。

5、人格ある教師は頭のよい幼兒とよくない幼兒と兩方をよく教ふる。

6、教師は辛抱強く、氣嫌よく、樂天的であらねばならぬ。

思ふ様な結果に幼兒を導き得ない時は自分の心に激勵の一語を常に用意すべきである。

7、教師は導くに當り極めて綿密なる用意を要する而して鋭敏なる力を以て觀察と注意をせねばならぬ。

8、教師の心は子供の精神に反影す。

9、教育は一つの心から次の心へと進み行く。

競技の例

豆囊競技 豆囊投げ、三色投げ、豆囊リレー、輪ぬけ、豆囊送り。

一列積木運び、三色競争、三色積木、積木倒し、積木籠入れ競争、積木毬投げ競争。

繩飛び。

ボール投。

其の他、室内にある物を保姆の命令でとつて來る競争、カヘル跳び、片足跳び等。

方法は省略。

面白いいコドモカルタ

東京女高師附屬小學校 奥 田 兵 治

○

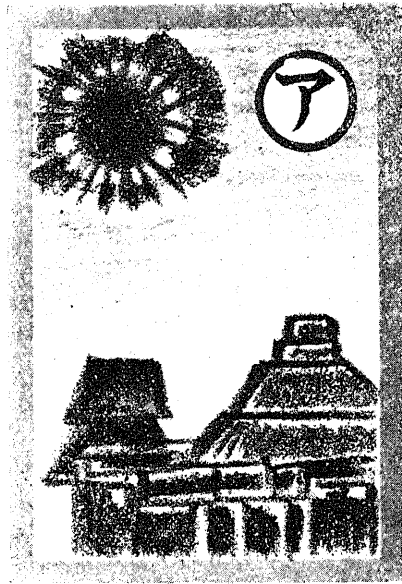
「ゴドモ カルタ」が生まれました。今年のお正月に、日本の幼稚園協會で、おめでたいことであります。本當に祝福すべきことであります。子供さん達はどんなにか喜んでゐることです。さうです。今もなほ喜びつゞけてゐます。更に今後喜ぶ楽しむことでせう。永遠の好伴侶者として、楽しいお友達を得た子供達のために祝福せずには居られません。

多忙に紛れてゐた爲め私が後れ馳せにお祝に出かけて行つた頃は、もう可愛い幼稚園の子供達に取り巻かれて賑やかに遊び廻つてゐました。コド

モ カルタ」の立派なお顔をはじめて拜見した私のよろこびは、どんなだつたでせう。桃の中から生れ出た桃太郎を眺めて、大喜びをした、お爺さんにもお婆さんにも決して劣らないものでありました。

その言葉の純真さ。力強さ。ひびきの美しさ。その意味の無邪氣さ、端的卒直で潑刺なこと。その繪の巧妙なこと。大胆、纖細、生々とした活躍振り。形の面白さ、色彩の純美。凡てに純真な子供らしさが溢れてゐるではありませんか。よくもまあ、この子供達が斯くも立派なものを生んだかと驚歎させられてしまいました。

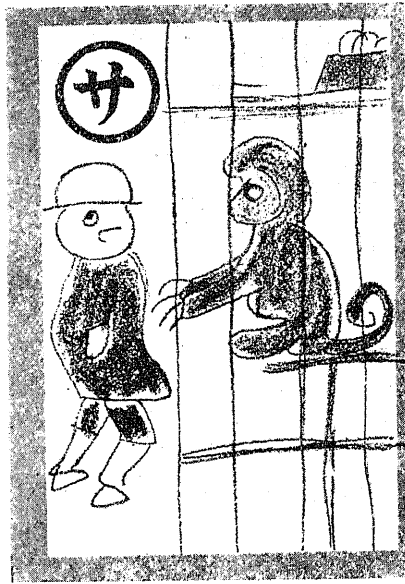
○
ア、 アサヒ ガ デテル。
イ、 イモ ガ コロガル。
ウ、 ウマ ガ ハシル。



エ、 エントツ カラ ケムリ。
オ、 オルガン ガ ナツテキル。
カ、 カライ カライ タウガラシ。
キ、 キリン ノ クビ ハ ナガイ。

ク、 クシ ニ ササツタ ダンゴ。
ケ、 ケイブルカー ガ ヤマ ニ ノボル。
コ、 コーヒー ノム ト アタタカイ。
サ、 サル ハ ヒツカク。
シ、 シイ ノ ミ ガ オチテキタ。
ス、 スズ ガ ナル。
セ、 セキセイインコ ガ ナイテキル。
ソ、 ソーソト カクレル カクレンボ。
タ、 タイコ ガ ドンドン ナル。
チ、 チカテツダウ ハ トンネルバカリ。
ツ、 ツエツペリン ハ オホキイナ。
テ、 テントウムシ ガ トブ。
ト、 トンナル ハ クライ。
ナ、 ナンキンダマ ハ キレイダナ。
ニ、 ニンジン タベル ウサギサン。
ヌ、 ヌツト カガシ ガ タツテキル。
ネ、 ネコ ガ ネズミ ヲ トル。

ノ、ノハラハヒロイ。
ハ、ハチ・ガサス。
ヒ、ヒガモエテキル。
フ、フクレタフウセン。

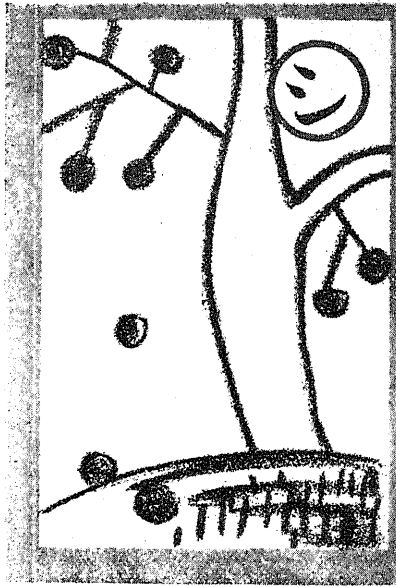


ヘ、ヘビハナガイナ。
ホ、ホシイオクワシガナクナツタ。
マ、マリガツキタイ。
ミ、ミンミンセミガナイテキル。

ム、ムシヲトラウトシタラマタハネタ。
メ、メダマノオホキイキユービーサン。
モ、モリニケダモノ。
ヤ、ヤネノウヘノスズメ。
ユ、ユキノナカノユキダルマ。
ヨ、ヨロヒヲキタイ
ラ、ラクダノウヘノタンコブ
リ、リンゴハアカイ。
ル、ルビーガヒカル。
レ、レコードガウタヒダス。
ロ、ロバガニゲル。
ワ、ワクノボリハオモシロイ。
キ、キナカデオイモホリ。
エ、エホンハオモシロイ。
ヲ、ヲトコノアソビハキシヤゴツコ。

薄桃色に美しく縁を飾られた四十七枚の文と、藍

色に、はつきりと縁を塗られた四十七枚の繪と、
兩方を夫々對照して、文句を読み、繪を眺めて見
るに、そのいづれもが、如何にも子供らしさに満
ちてゐて、しかもそれ／＼に獨特な味を見せてゐ



る。内容の複雑なもの、簡單なもの、大きいもの
小さいもの、あらゆる方面からいろ／＼なものが
集められておもしろい。自然界の現象あり、人事
界の事象あり、動物あり、植物あり、人がゐる、

器具がある。子供達の驚きあり、喜びあり、願望
がある、感歎がある。

○

材料について見るに、子供達の生活に極めて切
實な關係あるばかりである。

一、自然の風景

朝日、野原、森、雪、青空、山、畑、田、案山
子。

二、動物

馬、テントウ虫、蛇、蟬、虫、雀、猫、鼠、蜂
キリン、猿、兎、駱駝、ロバ、セキセイインコ

三、植物

芋、唐辛、椎の實、リンゴ、ニンジン。

四、文明の利器(科學の力)

ケープルカー、地下鐵道、飛行船(ツエツペリ
ン)、汽車(トンネル)、電燈。

五、玩具、器具、(人工の妙)

レコード、オルガン、タイコ、烟突、椅子、机
子、キュービー、繪本、鎧、南京玉、風船。

六、遊び
カクレンボ、キシヤゴツコ、ワクノボリ、マリ



ツキ、虫取り、芋掘り、雪遊び(雪ダルマ)等。

七、飲食物
御菓子、オダンゴ、お芋、唐辛、コーヒ、ニ
ンジン、リンゴ、等。

殊に、生活環境に關係あるものが最も多いのは
争はれない事實としてうなづかれる。即ち、都會
に於ける文明の諸機關、動物、植物其の他の自然
物象。子供の生活の直接對照物である玩具、器具
もつと直接的に生活する飲食物などから採つた材
料の多いことも、至極當然のことであらねばなら
ぬ、是等の物象が旺盛な子供達の求知心、好奇心
を満足させ、視覺、聽覺、味覺の好感にして微妙
なるはたらき等によつて、驚異となり、感歎とな
り、説明となり欲求となり、願望となつて力強く
表はれてゐるのである。繪にも。文にも。

○

文について、二三述べよう。

一、事實を卒直に正しく認容する。それを端的な
説明として表はす。

アサヒ ガ デテル。
イモ ガ コロガル。

ウマ ガ ハシル。

オルガン ガ ナツテキル。

キリン ノ クビ ハ ナガイ。

ケーブルカー ガ ヤマ ニ ノボル。



等、此の種のものが最も数多く見られる。之等をなほ詳細に心して見るときは、表現の不足からその意味が表面にまで表はれないが、單なる説明でなく、感歎あり、驚異あり、満足があることが

窺はれるのである。

二、願望、希求を遠慮なく表はすもの。

マリ ガ ツキタイ。

ヨロヒ ラ キタイ。

ホシイ オクワシ ガ ナクナツタ。

等は最も力強い言ひ方であるが、

クシ ニ ササツタ ダンゴ。

コーヒー ノムト アタタカイ。

フクレタ フウセン。

牛ナカ デ オイモホリ。

エホン ハ 牛モシロイ。

ワクノボリ ハ オモシロイ。

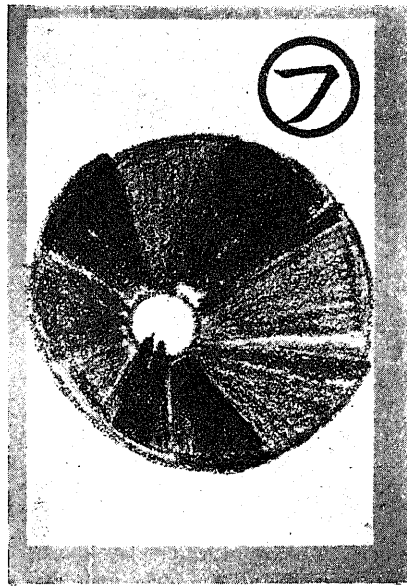
等にも、子供達の好きなこと、欲するものであることがよく察せられるのである。

三、感嘆驚異賞讃するもの。

アサヒ ガ デテル。

オルガン ガ ナツテキル。

セキセイインコ ガ ナイテキル。
 タイコ ガ ドンドン ナル。
 スズ ガ ナル。
 ノハラ ハ ヒロイ。



サンゴ ハ アカイ。
 レコード ガ ウタヒダス。
 ワクノボリ ハ オモシロイ。
 エホン ハ オモシロイ。

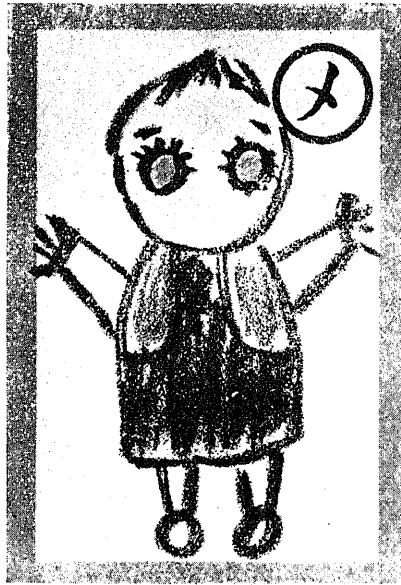
ツエツベリン ハ オホキイナ。
 ヘビ ハ ナガイナ。
 ナンダマ ハ キレイダナ。

なほ詳細に一々についてよく考察をめぐらして
 みるとなか／＼おもしろいことが数々あるが、以
 上に大別して概観しておくことにとめて、次に
 私の感心した二三を述べよう。

一、子供ながらに、その自然観照の鋭いことに驚
 かされた。「アサヒ ガ デテル」といふ。爽快な
 朝日の東天に輝く大きな自然の景趣を讚美する子
 供が、「シイノ ミ ガ オナテキタ」といふ。こ
 とりとこぼれ落ちる小さな椎の實の音に耳を
 はたらかせる敏感さを考へてごらんさい。子供
 は大なる詩人であると嘆賞せざるを得ないではあ
 りませんか。

二、端的によくその真意真情を表はし盡くす力強
 さは見上げたものである。「コーヒー ノム ト

「アタタカイ」「ヌット カガシ ガ タツテキル」の如き。前者は「オイシイ」といつただけでは、どうしても物足りない、オイシイことはわかりきつてゐる、もつとよくわからせるには「アタタカ



イ」がたしかに穿つた言葉である。あたゝかさを持つあいしさが、眞實のコーヒーの味ではありませんか。大人も及ばない巧みさではありませんか。「ヌット……タツテル」案山子の姿。豊饒な田

の穫の中に力んでゐる様子をよく表はしてゐませう。「レコード ガ ウタヒダス」「ウタヒダス」をよく氣をつけて讀んでみなさい。「ウタフ」だけでは弱い。「ナツテル」に比べてたらずつと強いが「ウタヒダス」の妙に較べものにならない。あのゼンマイの力で、サラ／＼と廻轉しはじめたレコードが、節面白く、大きな聲で歌ふ利那を想像してごらん。確かに「ウタヒダス」ではありませんか。此の種の表現の巧妙さは全く詩です。黄金の言葉と稱したい位です。自然に何のこだはりもなく斯くも口ずさむ子供達には詩人も筆を捨て、歌人も口をつぐむだらう。

三、自然に詩となり、歌となつてゐる。調子、口調のよいこと。韻律のおもしろさ。數回繰り返し讀んでみてごらん。いつのまにか歌つてしまひます。「カライ カライ タウガラシ」の「カライ」の音韻を讀んでごらん。其の他、音韻のおもしろいも

のは、「フレタ、フウセン」の「フ」。「ソット
カクレル カクレンボ」の「カクレ」の重韻、「ド
ン／＼」「ミン／＼」や「ネコ ガ ネズミ ヲト
ル」の「ネ」等に氣をつけて、數回讀んでごらん



なさい。自然の節奏があります。たくさんざる巧み
とはこれでせう。

四、口調の美しさ。子供らしい調子がよい。

ウマ ガ ハシル } 三、三調。

ロバ ガ ニゲル

スズ ガ ナル } 三、二調。

ハチ ガ サス

ノハラ ハ ヒロイ } 四、三調。

リンゴ ガ アカイ

イモ ガ コロガル

マリ ガ ツキタイ } 三、四調。

サル ハ ヒツカク

以上に類するものは、簡單明瞭、卒直な子供の
心情を表はすに好適な調子である。

「フククタ フウセン」の四、四調は快活で、滑
稽味を多分に持つてゐる。

五、其の他いろ／＼あるが、終止の音が「ル」で
あるものが非常に多く、その次に「イ」で終るも
のが多いことも文法上興味あることである。

アサヒ ガ デテル。

イモ ガ コロガル。
 ウマ ガ ハシル。
 オルガン ガ ナツテキル。
 ケーブルカー ガ ヤマ ニ ノボル。



タイコ ガ ドンドン ナル。
 ヒ ガ モエテキル。
 ロバ ガ ニゲル。

等、「ル」で終止するものが四十七中十四ある。

次に「イ」で終止するものをみるに

キリン ノ クビ ハ ナガイ。

コーヒー ノ ムト アタタカイ。

トンネル ハ クライ。

ノハラ ハ ヒロイ。

マリ ガ ツキタイ。

リンゴ ガ アカイ。

等、九つあり、なほ

ヘビ ハ ナガイナ。

ナンキンダマ ハ キレイダナ。

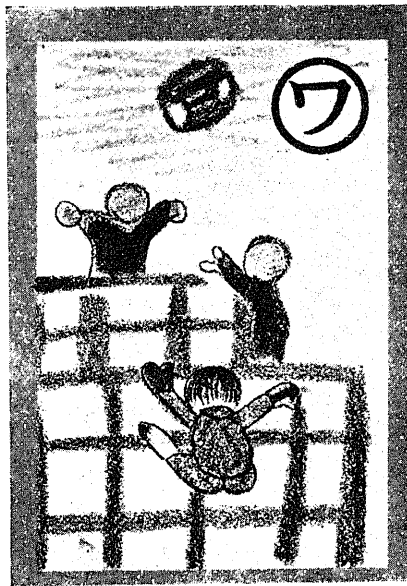
ツエツベリン ハ オホキイナ。

の、三つも「イ」で終止するものと相似のもの
 であらう。こんなこともおもしろい研究の資料に
 なる。

○

次に、描かれた繪について調べて、繪そのもの
 から來る感じ、繪そのものの持つ味、繪によつて

表はした子供達の意圖や想像を汲み取ると、なか／＼おもしろく、教育上參考になる數々のものを見出すことが出来る。更に文と繪とを對照して考察するになか／＼おもしろい。純美な、天真な子



供の世界を楽しみつゝ自分がいつのまにか子供の昔にかへつてしまふやうな氣持になつてしまふのであります。

況んや彼等のお仲間入りをして、「コドモ カル

タ」を遊ぶときは、複雑な大人の世界に齟齬して焦燥と不安と不満と偽善とに困憊せしめられ、現實の切迫した不自由な窮窟さから解放され、洗ひ清められることであらう。



雜 感

迷ふ事ばかり

再び幼稚園の仕事にたづさはつて一年にならうとするので其の仕事のあとを反省して見度いと思ふ。幸にして私の園は經營上のことについては心配しなくてよいので主力を保育に注がれるのであるが、扱て考へて見ると、談話についても唱歌、遊戲、手技手工、觀察等其一つ一つについて大に研究せねばならない。又良い習慣をつける上にも個性を發揮させる上にも考へるべき點が多いのである。之等の大きい負擔は元より凡人のなし能ふ處でない實際家の立場としては何を第一に考ふべ

大和郷幼稚園 坂 内 ん ツ

きであらうか。各兒の個性を觀察して其性質に適當したよい習慣を養ふ事は實際家でなければ出来ない仕事である。其他の事は何れも専門家が研究して居られるから其方々にお願ひして研究された所を教へていただき、之を消化して行くのが唯一の道と思ふ。幸にも近頃は談話にしても唱歌遊戲にしても研究なさる専門家多數で、年毎に日毎に新しい意見を發表され、實際家のよるべき道を示して下さる。目の前には何時も滋養に富んだ御馳走が列べられて箸さへとればよいやうにして下さる誠に感謝すべき事である。たゞあまりに御馳走が多過ぎて、其まゝいたゞいては食傷の慮があ

るのに注意せねばならぬ。何れをとり何れを後にすべきかに迷うのである。時には目の前の御馳走に目が眩み日に日に研究される新らしい御馳走の出て居るのに氣がつかない時がある。又時には箸をとるのが面倒だと箸さへ取らない事がないでもない。よし進んで箸をとつたとしても何を食べたら自分の體に同化するかに迷つて箸も鈍るのである。實際營養分は多量にあつても體質によつて同化し難い物と同化し易いものとある。自分の體質を充分に理解し一定の見識を以て其營養品を選択する事は容易のやうで容易な事ではないと迷ふ事の多いのも無理ではない。

よい習慣をつける上には、より以上の苦心がある。子を見る事親に如かずといはれて居る親が寢食を共にして居る少數の我が子の個性をさへ時には見誤り不良兒を出す事が無いでもないのに、一日の内僅かに四五時間しかも健康のよい機嫌のよ

い時遊び相手をして居るだけで、其兒の全性格を見出そうといふのは困難といふよりはむしろ無謀な事である。天心爛慢己を欺かずさらけ出すからよくわかるやうなものの少し健康を害した日には快活な兒も忽ち陰鬱となり穩かな兒も氣が立つて来る。お天氣と共に其あらはれが違つてくるので、それが其兒の本性であるか疑はるゝやうである。

其他活動的な子供にしようと思ふと時に蠻勇を振ふやうになり、上品にしようと思ふと消極的な人になる。發表の上手な人にしなくてはと思ふとおしやべりになり、落ちつきある人と思ふと遅鈍になり、敏捷にと思ふとせつかちになる。玩具の取扱にしてもよく利用させようと思ふと使はせれば取扱が粗末になり忽ちこはしてしもう。大事にさせよう長く保存させようと思ふれば使はせられなくなり、見せる玩具になつてしもう。一つの遊びにしても長く注意を集注させようと思ふれば後

の片附が十分出來ず室内が不整頓になる。整理整頓を充分にさせようとすればまだ／＼興味のつくものを止めさせねばならぬ事になる。其中肅を得る事の困難さは其衝に當つた人でなければ味はれぬ事である。保母は其時と場合に應じて處置を誤らぬ技能を有し其時の目的をしつかりと握つて居らねばならないのである。

小學校に送るについて

幼稚園には幼稚園の目的がある。小學校の豫備ではない、けれども一人として小學校に入學しない人はない。其小學校が入學難にて或小學校の如きは十五人の合格者に對して四百餘名の志願者があるのだから親が氣を揉むのも無理はない。保母としても二年間手鹽にかけた可愛い子供を其望む小學校に入學させてやり度のは人情である、力を注がずに居られない。然らば其準備はどうしたら

よいか。假令入學の事は考へずとも其年齢相當に心身を發達させるのは大切な務であるが、さて心の方面殊に知的方面が何處迄發達させればよいのか標準がわからない。近來行はるゝ小學校の入學檢定の問題を見ても何を標準として居らるゝかはつきりつかむ事が出來ない。中學校や女學校の入學試験に於ても問題の撰定に頭を悩さるゝは元より受験者も其準備に苦しみ、試験地獄などといはれるけれど要するに國定教科書の中から出るに過ぎない。明かに標準が示されて居る。たゞ範圍が廣いだけである。然るに小學校の檢査には標準が示されていない彼等は何によつて目標を定めたらよいであらうか、成績をのみ考へる結果教へ過ぎつめ過ぎて子供に過重な負擔を負はせて居るのではあるまいかと心配される、殊に熱心のあまり氣を揉み過ぎる親達が多くなるので一層つめ返されるやうに思はれる、一生涯に再び來ない遊ぶ時代に親

からも先生からも教へ過ぎられ、知に走つた子供らしくない子供が多くなるのではあるまいかと案じられる。しかしそうした子供の方が検査の結果がよいやうに思はれるので尙更考へさせられる。

小學校と幼稚園と共力して研究していたゞき大略の標準を示していたゞけば私共は之を目標にして之に達する方法を考へて行く事が出来ると思うのである。

視學がほしい

かうして數へ來れば困る事ばかりである、この疑問をどなたに相談したらよいのか、倉橋先生、其他の先生の膝下に居る時は何時では伺はれると思ふせいかそんな淋しさを感じた事はない、此度獨りはなれて仕事をすれば如何にも頼りなく心細さを感じる、其度毎に伺ひに參ればよいのだがこんな小さな問題で一々先生を煩はす事は相濟まぬ

又お忙はしい先生には容易に御目にかゝる機會がないのである。かう思う時私はどうしても視學が欲しいと思ふ。それは相談相手になつて下さる視學、親切に其園の環境や事情を観察してこの園にはこの方法が理想的である、この園ならば少しこの點を改めたらよいといふやうに其園其園によつて指導して下さる視學がほしい。假令一年に一回か二回しかまわつて來られなくとも、そうした方があれば相談にも行かれる。經營上の苦心や保姆の採用等についても緩和される事と思ふ。たゞ缺點をさがし出す事を務とする視學や權威を振りまくだけの視學ならば無い方がましである。又談話だけの視學、唱歌だけの視學ならば有難くない、幼稚園の全般を知りぬいた實際家の指導者で時に應じ園に従つて質問に答へて下さる視學を置いて下さる事を切望して止まぬ次第である。

幼稚園の手工に就いて

玉成保姆養成所研究科生

唯今の幼稚園の手工をどういう様にして参りましたらよいか、私の考へを云はせて戴き度う存じます。

第一の理想と致しましては、子供に色々な材料を實驗させて、段々自分から構作して行ける様な方法をとつて行き度いと思つて居ります。それには材料を室内の適當な場處に時々變化させたものを置いて、其の一つ一つが材料として、どこだけの可能性を持つて居るかを幼児に知らせるの御座います。初めの何も出来ない子供には、折紙の置いてある處には何かやさしく折れるものを二つ三つ作つて置いてあげましたり、又色々な材料

を用ひて他の子供が作ったものを並べて見せてあげる様に致します。又先生が御友達となつて一つの池を作つて、池の中には金魚を泳がせ度い龜も遊ばせ度い、と云ふ希望をもたせながら手早く折紙で折つて見せてあげますと、こう云ふ事が出發で、自分も作つてみたいといふ興味が起つて参りませう。そして子供がどんな折方でも一折り折りましたらば、直に先生の眼には、帆かけ船に、又衝立に、本立てに見えて行く様な經驗と想像が大切であると思ひます。そして何でも子供の望むものを自分で作る事が出来る様に導いて参ります。子供自身に工夫させて、子供には出来ない急所々

々を相談相手となつて参ります。こうして練習されて参りますと、何時先生が相談してよいか、彼方でも此方でも別々なものが作り出されて居るのを、臨機應變に見守つて行くので御座いますから子供のしたいと希望するところのものが僅な先生の言葉、又は取扱ひの結果、大したものを見る事が出来る様になります。之を思ひますと先生は、餘程創作的にならなければならなといつくゝ感じられます。

どうかして少しでも早く、こう云ふ幼稚園の手工にしたいと云ふ理想に向つて進むには、先生の考へをまづ第一に改良する事で御座います。それには限られて居る材料をもつて、大勢の子供を一時に準備してゐた方法で致さない方が良いと思ひます。

手技の實習の度に、何を作らうか、何で作らうか、どう云ふ方法で作らうか、と此三つの條件を

考へれば考へ程る良い工夫が出て参りませんで随分困りました。何時も何でも構はず、出来上りを畫用紙に貼つてしまふ事や、又袋か必ず籠にするより外に、何も考へが出て参りません。あまり考へますと、どうしても出来上りを美しく手際良くしたい爲に、先生の手を多く入れるものを考へる様になります。こう云ふ事では子供の進歩は出来ない上に、人を頼る心を強めるばかりで無く、大變に悪い習慣をつける恐ろしい事であると云ふ事がわかりました。

先生が教へるものは、子供に考へのつか無いもので、又出来るだけ持つて遊べる面白いものを考へて、何時も同じ様なものを作らせ度く無いと思ひます。そして一時に同じものを作らせた時に、全體の表し方が皆同じで無く何處かにそれゝ違つた表し方があつて、先生が一人々々の違つてゐる處を味はふ事の出来る様に指導して行く事が何

より大切であると思ひます。

出来上りの上手下手を重く見るので無く、折りの付け方缺の使ひ方を見て、全體としてどう云ふ傾向があるか、又昨日と今日とはどう云ふ違ひがあるか、と云ふ事を考へ度いと思ひます。それから時々全體として面白い結果を見る事が出来ましたら、子供と一緒に皆御互ひの味はふ事を、成る丈けする様に務め度いと思ひます。

あまり極端かも知れませんが、手工は人から教へられるものではなく、自分から工夫するものだと思ひます。口や手では、或る程度までしか教へる事が出来ません。先生が凡てを教へてしまふよりも子供に経験させる方が眞の教育だと思ひます。

そして各自々々の異つた現し方を奨励するのには、一番初めにものゝ見方を養ふ事からして行き度いと思ふので御座います。それには御部屋に子

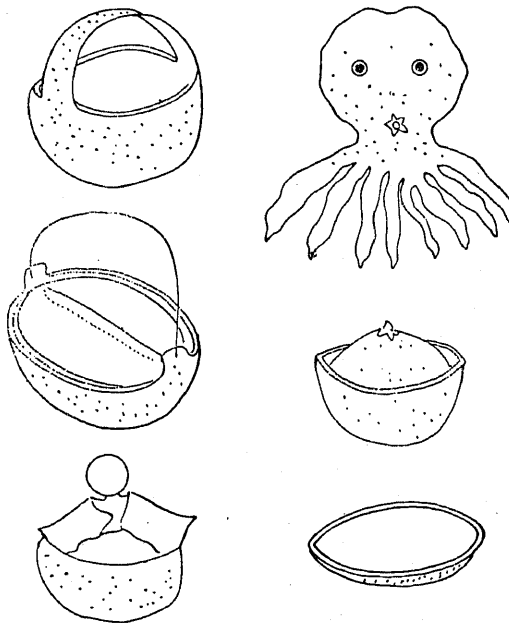
供の参考になる玩具や置物を置いて、良いものを澤山見せる様に心懸けます。又椅子でもテーブルでも、作る時に何かの参考になる様な點を注意して、立體のものでしたらば、正面からだけで無く横からも上からも後からも斜からも、見て行きますと、限り無い變化と味はひが色々な變つた姿を現すのに氣が付きます。その見方を先生が注意しなければなりません。

作つてみる事は見方を進め、見方が進めば作り方も進んで行くのが當然で御座います。自分で見て自分で工夫する時、其處に初めて、創作があり眞の美の理想を進める方法となります。見たいと思ふ心、現はしたいと思ふ心は、ほんとうに人の純粹な心の欲求から出るもので、誰でもが持つてゐると、フレイベルが云つていらつしやいます事を、手工に就いても味つて行き度いと思つて居ります。

そしてどうかして私が子供の製作の、上手下手にのみ、注意を引かない様に、又子供の思つた通りのもので、先生の手の入らないものを作らせる様にしたいと考へて参りますと、材料としては、自然物を最初に出来る丈け用ひて参りましたら如何かと思ひます。それは自然物の何一つとして、上手下手に出来で居るものは無く、特別に人の手では出来無い自然の色を味はせて行き度い爲に思ふので御座います。

例を二つ三つあげてみますと、巴里の幼稚園で美しい小石を用ひて、色々に模様を作つて遊ばせていらつしやるとうかゞひました。石には色々な石獨得の模様があり、濃淡とろろの色をして、其の形にはなか／＼面白いのが御座いますから、立派な模様構成の材料になります。夏等には水の中で致しましたら特に色の美さを感じる事が出来て一層面白い事では無いかと思ひます。

又自然物は其の時期にあるものを用ひますと容易に材料を集める事が出来ますから、唯今の密柑を用ひても、こう云ふ様な色々なものが出来ます。



皮は他の方の召し上つた、後と云ふので無く、皆一緒に注意しながら大事に皮を取つて、中實は其

場で戴きましたり、又後に寒天の中に入れて、御食後に戴き度いと思ひます。

それから何時でも得られる隠元豆や、豌豆や、メロンの種子等を用ひて、油土の様なものを平にした上に、思ひ／＼の模様を並べて手で抑へると、面白いものになると本に書いて御座いましたので、してみたいと思つて居ります。又自然物は何時までも、とつて置ける事を経験させたいと思ひますので、皆で拾つた落葉や、又長い間御部屋に飾つた花や、皆で一生懸命に丹精して咲いた花を、何時までも残す様に、皆で一緒に押葉に拵へます。毎日紙を取換へるだけでも、新聞紙を折る事又昨日使つたのを元の様に折り戻す事でも、不知不識の間に折紙の練習が出来ませう。

又海藻を措葉にして、自然の糊は如何に巧に出来て居るかを、経験する事が出来たらばほんとうに嬉しい事であると思ひます。

こうして出来上つた押葉は、色々に手を入れて帖面の表紙に、又箱の蓋に、或は額にと工夫して面白いものが出来ませう。海藻を用ひては、海の景色の御話を聞かせて後、思ひ／＼に海藻を貼つて海の景色を畫かせたならば、面白い結果を見る事が出来ませう。

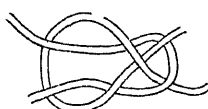
この様に長い間大切にしたもの、又尙美しいものにする事を経験致しますのは、ほんとうに大事なことと思ひますから、又子供に興味のある廢物を利用する事も良いと思ひます。例へば古い硝子瓶に、エナメルで色を付けたり、模様を畫いても見違へる程美しい花瓶になりますし、又新聞紙細工で面白い花瓶に變へる事もして見たら御座います。

又大工から不用の木片をもらつて、色々な形を利用して面白いものにする様になりたいと思ひます。何時で御座いましたか、敷居の木片を或る子

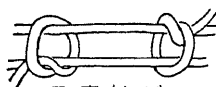
供は戸棚として、其れにクレオンで茶に塗り、四角の紙の四隅を捻つて作つた御皿が五枚、飾られてあるのを見せて戴きました。こうして御皿は五枚一組となる、と云ふ事を経験する事は、實際生活にも必要なことと思ひます。ですから、例へばお壽しを作りました時等、唯良い加減に並べるより、取合せを考へて、笹の葉一枚も添へる心でありたいと思ふので御座います。

實際生活に役立つ手工として、ハンカチーフを何時も使つた後は疊む事、又窓掛の掛方、帽子掛の整頓を練習することも、一つの方法では無いかと思つて居ります。そして私は、紐結びの練習を面白く遊びながら教へて行き度いと思つて居ります。駒結びは普通使はれて居りますが、あまり使はれ無いで必要な結び方を例へば、太郎さんが大きな御荷物を持つて、ボチを連れて、御花屋さんに参りましたけれども、あまり御荷物が大きいので、

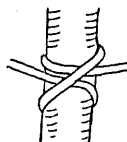
で、御用を済ませるまで柱に結へてをきたいのですけれども、何時もの駒結びではどうしても滑つてしまひます。其處で漸く考へ付いたのがこの滑らない結び方で竹結びをする事になりました。と



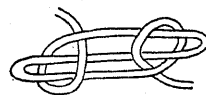
機 結 び



電 車 結 び



竹 結 び



つめる 結 び

云ふ様な方法で子供に出来る範圍の結び方をして参りませうと思つて居ります。そして結び方の練習として、こう云ふ時にはどう云ふ様に結びませう、と問題を出す様にしても、面白う御座います。

次に考へ方が全然違ひますけれども、學術應用として數學物理學化學等の學理と、實地を不知不

識に實驗する様に、子供の興味にかなふものを作つて行き度いと思ふので御座います。挺子の利用として桿秤を作つてみる事も出来ませう。糸を強く引いて、指で弾いて音が出るのに注意致しますと、糸の振動の經驗を致します。重心が何處にあるかは、彌次呂兵衛を作つて遊びながら知る事も一つの面白い事であらうと思ひます。

考へれば色々な方法が出て参りませう。

どう云ふ方法と致しましても、先生として指導の爲を考へるので無く、又子供の手工力を増す事より何より、自分で作る時の面白味と、其れが出来上つた時の喜びとを、子供と共に味はひ、この味はひこそ、他の物質の何物にも換へられない事を何處までも考へて行きたいと願ふので御座います。

× × × × × × × ×

ある日

お室のストーブはまづかに燃えて、外は、粉雪が盛んに降つて居ます。大喜びでまつきから雪つりなどして居た人も、冷くなつたと見えて大方御室に歸つて來ました。

A 「皆でスキー場を作りませうか」

B 「あゝそうだゝ それがいゝや」と忽ち意見一致して早速スキー場を作りにかゝりました。

先づ砂箱にお砂を運んで、山を作り、雪を降らせました。雪はあり合せのウドン粉をまいたり、白墨をけづつたり致しました。

「先日砂屋に行きましたら奇麗な白砂がありましたがあればしたら結構でせう。」

(七八頁につづく)

作り易い草花

大 岩 金

彼岸前後は種子蒔、移植、挿木など一年中でも最も多忙な時期であります。

種子蒔に就て申しますれば秋の彼岸前後に蒔き得なかつたものはなるべく早くこの際下種しなければなりません。即ちきんぎよさう、矢車草、むしとりなでしこ、その他色々ありますが、是に就きましては曾て表示して居りますから略しておきます。又春蒔に致しますものも少しはあげたつもりで居りますから、今回はそのうちの二つに就ての栽培法を申し述べます。

一、きんれんくわ

このきんれんくわは以下に挙げますやうな點で

幼稚園でも家庭でも幼児自からが手を下して播種から採種に至るまで引きつゞき世話が出来ますし伸びた葉や咲いた花などは觀察に或はその他の材料に役立てられるものではないかと思ひます。

- 1、種子の大きなこと
- 2、發芽歩合の大なること
- 3、發芽の割合に早いこと
- 4、成長の早いこと
- 5、移植に堪へること
- 6、枝葉のよく繁茂すること
- 7、開花期間の長いこと
- 8、挿木でよくつくこと

9、種子のとり易いこと

10、葉にたまつた露のきれいなこと

以上思ひ浮びましたまゝを書きつらねましたが是は大體栽培方面からみた點ばかりで、他に色々の異なつた見方によりまして擧げるべき諸點のある事と思ひますが、それ等に關しては私かとやかく申す限りではありませんから、この位にしておきませう。

栽培法

1、播種

三月末から四月にかけての候に播種すればよいのであります。そして鉢蒔にしましても床蒔にしましてもよろしいのであります。そのいづれに致しましても、大粒の方の種子、即ち大きなものですと大豆大、小さいものでも小豆位にはあります（豆のやうに表面が平滑ではありませんが）からは一般の種子のやうに澤山をもつて撒播に致

しますよりも、一粒づゝ縦横に一寸位の距離を置いて竝べてゆく方が小さい方々にも蒔き易いかと思ひます。又蒔きました上に覆土致しますにも篩でふりかけないで、満面に種子が竝べられまじなれば次に端から種子の直径の二―三倍の深さに指で種子を土中に押し込んでゆき、最後にこの穴を周りの土で埋めておくのであります。今一つの方法は豫め種子の三―四倍の穴を指又は棒であけておいて、この中に一粒づゝ入れ、然る後穴を埋めてもよいのであります。それから充分に灌水しておきます。

播種して一週間もたちますと、丈夫なよい種子から順々に殆ど残りなく、地上にかはいらしい二葉を出し、やがて芝も伸び、本葉も出て來るのであります。かやうによく發芽するといふ事は、播きました者にとりましては、誰しも感ずる先づ最初の喜びであります。まして幼い子供達にとり

ましては尙一段の喜びであらうと思ひます。

2、移植

本葉が二三枚も出ましたならば、次には是を移植するのであります。鉢作りに致します時には五寸鉢に一本づつ、露地作りですとその矮性種と蔓性種とにより五六寸——一尺五寸位の距離に植ゑ込むのであります。

丈夫でありますから土質に對する好惡はさほどありませんで、よくどんな所にも成長致しますが日當りはよい所に植ゑたいのであります。日蔭に育つたものは枝葉のみ徒長致しまして花つきがよくありません。

3、移植後の手入

本植えしましたならば、時々油粕の腐汁のやうなものをやりますと、ずん／＼枝葉が茂つて參りまして、その葉腋から黄又は橙黄色の美しい花が長い花梗の先に長い距をつけてみづ／＼しい楕狀

の葉間に咲き出るのであります。そして是は霜には弱い方でありますが、暑さにはなか／＼丈夫でありまして、夏でも特別の炎天でなければ平氣で生ひ茂つて居ります。それ故夏の朝など庭を消遙致します時、このうひ／＼しい葉が一面に茂り合つて、その上に銀のやうな露をのせてゐるのなどは、只に花なくとも葉丈でも充分に觀賞する價值があると思ひます。六月頃から咲き初めました花は以後引續き、十月末頃までは露地で眺められます。

4、挿木の仕方

枝葉が伸びすぎた場合、又は不用な部分は是を切り更に二三節毎に枝を切つて、下部は節の所を斜めに切り、水なり砂又は砂と土とを等量に交ぜた中に挿しておきます時は、その切口から白い根をよく出しまして、容易に一本のきんれんくわとなるのであります。又秋の末になりまして露地で

はもはや枯れるといふ時になりますと、是を前同様の方法で挿し、溫室内に入れておきますならば早春から花を見る事が出来ます。

又鉢植のものとすると根本から三四節を残して切り去り、同じく溫室内に入れます時は、又新しく枝葉が伸びて越冬させる事も出来ます。

5、採種

開花期間が長いと申しましたけれども、是は一つの花がそんなに長く咲きつゞけるのではなく、次から次へと咲き變つてゆくのでありますから、始めて咲いた分は種子になつて參ります。一花がたいてい三粒の種子になり、その始めは緑色をして居りますが、次第に黄變し終には黄褐色になります、自然に種子は花軸から離れて地に落ち時には、そこで發芽する事さへありますから、採種致しますには、まだ少しは緑色を呈して居ても指先でふれてみて、すぐ離れ落ちるやうでしたなら

ば、もう充分に熟して居るのでありますから、直ちにとり、之を日蔭干にして次の播種期まで保存しておきます。かく花期の長い花は一時に採種は出来難いものでありますから、折々見廻りましてその適期／＼に採種すべきであります。このやうに一方に開花の状態にあるものもあれば、既に結實したものもあるといふ事は、花壇としてはあまり面白い事ではありません、けれども見方を轉じて、この花に依つて種々なる觀察や遊びをすると致しますれば、却つてこの方が好都合ではありますまいか。

6、種類

原産は南米でありまして、この屬に入るものは四十五種程ありますが、普通に栽培されて居りますのは、二三種に限られて居ります。即ち蔓性種と矮性種であります。

蔓性種は花壇植にも、鉢植にしても、懸崖作り

にして垂下させましてもよろしいのですが、是は垣根仕立に致します時は、夏の眺めに誠に氣持のよいものであります。

矮性種は花壇にも鉢にもよろしく、出來のよいものは花付が多く、花の冠を冠むつたやうになりまして誠に美事であります。又葉に斑の入つたものや、花色にも鮮紅色、紫紅色、紅色などのものもあります。

二、スキートアリツサム

花の香のよい所からスキートの名がつけられて居ります。このスキートアリツサムも栽培法が極めて容易であり、色々の點に於て前のきんれんくわに似て居りますから、なるべく重複をさけて申し上げませう。

栽培法

1、播種

種子は前者に比べて、ずつと小さいのでありま

すから、一般の種子の播き法により、鉢なり床なりに撒播にすればよろしく、それも一度播きつけておきますれば、翌年からは殊更播かなくても自然に落ちた種子でその邊一ぱいに發芽してくる位なものであります。

2、移植

性質が極めて丈夫でありますから、小さい時でも少々大きくなつて居りましても、容易に活着致します。移植後少し面倒をみてやりますならば、相當に大きくなつて、花が咲いて居るやうなものでも尙よく移植に堪へます。

3、移植後の手入

きんれんくわの如く時々油粕などの腐汁を與へてやりますれば長い開花期間中勢力旺盛で株張りよく茂つて居ります。

又あまり枝葉が地に接近して、こみ合つて居ります爲、自然その下が害蟲の潜伏所となり易く、

夜盗蟲や根切蟲などに時折害される事もありますから、注意して一部に被害がみえましたならば、その邊りを堀つてみて、驅除しなければなりません。又かたつわり、たまひしなどよく集まつて居るのを見受けますが、それ等の害については確たる經驗はありませんが、やはり是等もとて除いたにこした事はないと思ひます。

4、花

眞白の十字科の小さい花で、それが一面につきますので、よく出来ました株は一株でも方一尺以上に擴がり、これが花一ぱいで覆はれました、美觀は雪かともがふばかりであります。咲き方は下の方の枝の葉腋から出たものから始めて順次上へ／＼と咲きつゞいてゆくのでありまして、四月頃からよく十一月の降霜時まで咲きつゞけ、極暑の候には幾分花付きが悪しく、勢力が衰へて参りますけれども、又秋になりますと恢復しまして、長

く他の花の次第に少なくなり、時でも尙よく咲きほこつて居ります。

5、採種

小さい種子で且つ多量に出来ますものを、いち／＼一粒宛採つてゆきます事は、到底不可能でありますから、是は大體花の終りました頃、靜かに株を刈とりまして、新聞紙上等の上に振り落すのであります。又開花期間中に種子の出来た枝の交じつて居ります時は、外觀もよくありませんから、その部分は缺で切りとり、是を前の如く紙上に振り落してもよいのであります。

6、用途

丈の低いこと、花付きのよいこと、株張りのよいことなどの點からは花壇の縁取りをして結構なものであります。芝の様に永年草ではありませんが相當に長くもちますし、それに經濟上からも手數から申しまして容易であります。又花が眞

白でありますため他の色の花との配合もよろしく花の少ない時には、大部分をこのスキートアリツ

サムで埋めておき、所々を他の花で植え込みます時は立派な毛氈花壇も出来ます。又踏みつけない所ならば芝代用に白い芝生も出来ます。

この外一本宛を鉢作りに致しまして充分に眺められます。

又小供達が切りとつて遊びましても、又後からくくと新しい枝が出て参りますから、淋しくなる心配ありません。冬にも引つゞいて咲かせますには、フレームか温室にとり入れ、ばよいのであります。尙早春に開花して居りますのは、秋蒔にして是を冬の間簡単な霜除をして越冬させたものもあります。

以上の外春蒔で、作り易い草花を挙げますならば、コスモス、百日草、千日紅、ほうせんくわ、まつばぼたん、あしろいばな、はるしやぎく、さ

んけいぎく、萬壽ぎくなど種々ありますが、此の度はこれで筆をとめておきます。

(七一頁ある日のつゞき)

枯木を二三本立て、適當に綿をかぶせ、小屋は茶ボールで作つて御屋根や、窓にも綿をのせました。そして日本アルプスの様な背景を書き、大體スキ―場が出来上りました。人はキビガラで作つてヒゴの先にキビガラを小さく輪切りにしてさしたかぢを持たせました。同じくキビガラを少し平にして先を斜にそいだスキ―を兩足にはかせました。めいめのスキ―ヤーが出来上りますと大喜びですべらせて居ました。

(たか子記)

雜 錄

○青年訓練所の表彰

去る紀元節に當り、文部省では全國一五、五五三の青年訓練所中より成績優良なるものとして、左記公定一五一、私立三五の青年訓練所を表彰した。

道府縣 青年訓練所

北海道 雨龍郡妹背牛村妹背牛青年訓練所

上川郡神樂村神樂西第二青年訓練所

中川郡幕別村幕内青年訓練所

札幌郡豊平町平岸青年訓練所

瀬棚郡瀬棚村玉川青年訓練所

夕張郡角田村阿野呂青年訓練所

空知郡三井砂川鑛業所青年訓練所

中津輕郡千年村立千年青年訓練所

南津輕郡五郷村立北中野青年訓練所

北津輕郡武田村立充當武田農業補習學校

上閉伊郡宮守村立宮守青年訓練所

盛岡市立櫻城青年訓練所

和賀郡谷内村立谷内青年訓練所

宮 城

牡鹿郡稻井村稻井青年訓練所

柴田郡槻木町入間田青年訓練所

桃生郡大鹽村青年訓練所

私立仙臺片倉青年訓練所

秋 田

仙北郡北橋岡村立北橋岡青年訓練所

由利郡石澤村立青年訓練所充當石澤農業補習學校

由利郡西瀧澤村立青年訓練所西瀧澤農業補習學校

山 形

南村山郡棚田村立第一青年訓練所

東村山郡金井村立金井青年訓練所

東田川郡黃金村立第一青年訓練所

帝國人造絹糸株式會社米澤工場青年訓練所

福 島

田村郡片曾根村立片曾根青年訓練所

雙葉郡廣野村立廣野青年訓練所

伊達郡伊達崎村立伊達崎青年訓練所

大沼郡中ノ川村東川村組合立砂子原青年訓練所

郡山市立明篤青年訓練所

信夫郡杉日村日東紡績株式會社福島工場青年訓練所

筑波郡眞瀬村立青年訓練所

稻敷郡阿波村立青年訓練所

久慈郡佐竹村立青年訓練所

北相馬郡井野村立青年訓練所

日立製作所日立工場青年訓練所

栃 木

下都賀郡小山町青年訓練所

足利郡吾妻村青年訓練所

鹽谷郡北高根澤村青年訓練所

群馬

勢多郡原充用實業補習學校

群馬郡駒寄充用實業補習學校

埼玉

佐波郡赤堀充用實業補習學校

北埼玉郡利島村立青年訓練所

入間郡福原村立青年訓練所

入間郡入間村立青年訓練所

千葉

兒玉郡本庄町山十會社青年訓練所

大里郡熊谷町片倉製糸紡績株式會社青年訓練所

安房郡會呂村立會呂青年訓練所

匝瑳郡椿海村立椿海青年訓練所

東京

香取郡飯高村立飯高青年訓練所

東葛飾郡野田町私立醬油株式會社製棉工場青年訓練所

北多摩郡東村山立東村山青年訓練所

北多摩郡國分青年訓練所

東京市立日本橋第一青年訓練所

神奈川

東京市立日本橋第二青年訓練所

私立松屋青年訓練所

私立松坂屋青年訓練所

津久井郡川尻村立青年訓練所

高座郡大澤村立青年訓練所

新潟

中蒲原郡橫越村立橫越青年訓練所

古志郡荷頃村立荷頃青年訓練所

三島郡大河津村立山ノ脇青年訓練所

富山

北蒲原郡川東村立川東青年訓練所

上新川郡船崎青年訓練所

石川

上新川郡針原村青年訓練所

西礪波郡鷹栖青年訓練所

福井

羽咋郡若部村立青年訓練所充當農業補習學校

江沼郡西右村立青年訓練所充當農業補習學校

能美郡大杉谷村立青年訓練所充當農林補習學校

山梨

坂井郡竹田村立竹田青年訓練所

坂井郡本莊村立本莊青年訓練所

遠敷郡小濱町立小濱青年訓練所

足羽郡社村私立福井服部紡績青年訓練所

中巨摩郡青年訓練所充用村立藤田農業補習學校

東山梨郡青年訓練所充用村立加納岩農業補習學校

東八代郡青年訓練所充用村立豐富農業補習學校

南都留郡青年訓練所充用村立瑞穂實業補習學校

下伊那郡松尾村立松尾青年訓練所

上水内郡鬼無里村立鬼無里青年訓練所

上伊那郡南尚村立南尚青年訓練所

諏訪郡川岸村私立片倉青年訓練所

岐阜

武儀郡下之保青年訓練所

海津郡吉里村青年訓練所

山縣郡上伊自良村青年訓練所

大野郡丹生川村青年訓練所

私立大日本紡績株式會社關原工場青年訓練所

靜岡

賀茂郡上河津青年訓練所

靜岡市一番町青年訓練所

小笠郡村立比木青年訓練所

駿東郡小山町富士瓦斯紡績會社小山工場青年訓練所

愛知

岡崎市梅園青年訓練所

名古屋市榎青年訓練所

海部郡佐屋青年訓練所

渥美郡牟呂青年訓練所

三重

名古屋市松坂屋青年訓練所

三重郡青年訓練實施千種村立實業補習學校

飯南郡射和村立射和青年訓練所

阿山郡長田村立長田青年訓練所

名賀郡花垣村立花垣青年訓練所

私立東洋紡績富田工場青年訓練所

大上郡日夏村立日夏青年訓練所

蒲生郡南比都佐村立南比都佐青年訓練所

京都

東淺井郡小谷村立小谷青年訓練所

加佐郡中筋村立充當實校補習學校

北桑田郡山國村立青年訓練所

大阪

相樂郡當尾村立青年訓練所

市立北第五青年訓練所

泉南郡佐野町立佐野青年訓練所

市立東第六青年訓練所

南河內郡長野町立長野青年訓練所

私立大阪大九青年訓練所

兵庫

三原郡北阿萬村立青年訓練所

加東郡中東條村立青年訓練所

飾磨郡八幡村立青年訓練所

朝來郡與布土村立充當農業公民學校

水上郡前山村立青年訓練所

東洋紡績株式會社姫路工場青年訓練所

神戸製鋼所青年訓練所

奈良

添上郡山原青年訓練所

添上郡三ヶ谷青年訓練所

山邊郡豊原青年訓練所

私立大日本紡績株式會社高田工場青年訓練所

東牟婁郡田原青年訓練所

和歌山

海草郡加茂青年訓練所

伊都郡大谷青年訓練所

大分セメント株式會社山良工場青年訓練所

鳥取

西伯郡名和青年訓練所

氣高郡逢坂青年訓練所

下毛郡鶴居青年訓練所

東國東郡富來青年訓練所

北海部郡私立佐賀關製鍊所青年訓練所

宮崎

南那珂郡細田村書訓充當細田實業補習學校

西臼杵郡三ヶ所青年訓練所

宮崎市江平町私立郡是製糸宮崎工場青年訓練所

沖繩

島尻郡渡嘉敷村青年訓練所

國濱郡安田青年訓練所

鹿児島

鹿児島郡西武田村田上青年訓練所

出水郡田村野田青年訓練所

肝屬郡鹿屋町鹿屋青年訓練所

私立大日本紡績株式會社鹿児島工場青年訓練所

○長崎市立山町に玉園學

園の開設

學園長荒木嘉弘氏の開園の挨拶。

私儀全國各地に亘り幼兒保育の實狀を見學のため、昨年七月長崎を出發致し貴地巡廻の折は多大の御配慮を恭ふし有難く御禮申し上げます。

十一月末歸崎後早速園舎の建築書類の整備備品

の蒐集、及び園児の募集等、殆ど晝夜を分たず準備を急ぎ去る二月一日は開園致しました。

當日三十名の幼兒の參集を得ました、其の時は嬉しくて、勿體なくて自ら涙の湧き出るを覺えました、其の後漸次増加して、唯今在籍三十九名となりました。全く私の力でなく衆生の御恩と感謝致して居ります。何卒此の後共師となり、父母となり御指導、御鞭達下さいます様に御願ひ申します。

立山町一帯を「たまその山」と稱へますので町内有志の希望も有り園名を玉園學園と命名します。

×

×

×

×

×

×

定規文注

告 稟

一、幼稚園及び小學校、家庭、育児、看護等に關する論說調査研究等の寄稿を歡迎いたします。

一、寄稿は一行二十四字詰に記して下さい。但改行は一字下げること、また句讀點は一字あけること。

一、寄稿並に本誌の編輯に關する通信、紹介及び寄贈の新刊書、交換雜誌、入會手續、更に

本誌の購讀及び廣告に關する通信並に照會等一切左記編輯兼發行所宛に願ひます。

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

日本幼稚園協會

一、本誌御注文の方は凡て前金（郵税共）で願ひます。（郵便代用の場合には總て一割増）

一、御送金の場合にはなるべく振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。

一、送金の節には第何卷第何月號より第何月號迄と明記せられたし。

一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。

一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封に『前金切』の印章を押捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます。

一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

價 定

一ヶ月分一冊	金參拾五錢	送料壹錢
半ヶ月分六冊	金貳圓拾錢	送料共
一ヶ年拾貳冊	金四圓貳拾錢	送料共

（外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい）

昭和五年三月十二日印刷納本
昭和五年三月十五日發行

幼兒の教育 第三十卷第三號

製 復 許 不 載 轉 禁

編輯兼發行者 堀 七 藏
東京府豐多摩郡戸塚町大字戸塚五七五

印刷者 須 藤 紋 一
東京市麹町區飯田町二丁目五十番地

印刷所 京華社印刷所

發 行 所

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
日本幼稚園協會
振替口座東京一七二六六番

告 廣

特等面一頁 金參拾圓	二等面一頁 金貳拾圓
一等面一頁 金貳拾圓	一頁以下御斷

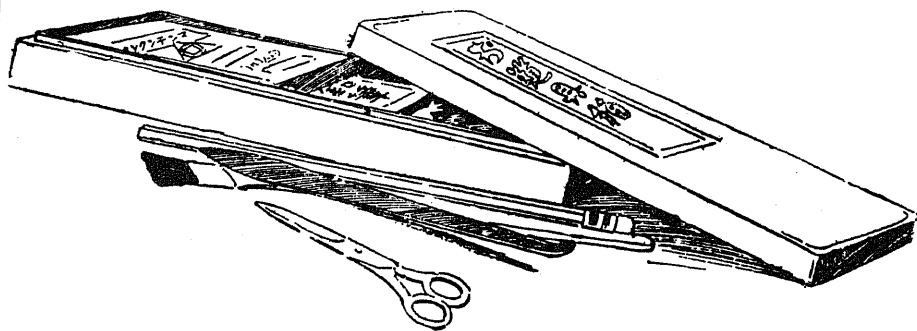
神田區南甲賀町八品田與松に御申込下さい。

大判洋裝全一冊
繪圖二百二十頁
定價金三圓五拾錢
送料金拾八錢

發行所 東京 市町 牛一 込七 區四 中 文 館 書 店 振電 替路 東牛 京込 三三 八三 四三 十五 番番

東京女子高等師範學校附屬幼稚園御案

お道具箱



◎園児方に御賞はせ下さい◎

日本幼稚園協會編

◆ヌリエ

輪廓をうささない様にクレオンで塗ると云ふ作業が、微細筋の練習となり、やがて總ての作業の素地を作るのであります。本年は色刷の塗方見本を添えます。

定 價 一號・二號共 金 三十 錢

◆自由畫帳

幼兒をして自由自在に繪を描かせる、満洒たる冊子、四十頁綴、内十二頁色畫紙。

定 價 一號 金 二十 錢 二號 金 十 錢

東京女子高師附屬幼稚園御案

◆お道具箱

クレオン、鉛筆、糊ばけ、粘土ペラ、ノリペラ、鉄等を収めた丈夫で美しい整理箱。園児にも父兄にも必ず喜ばれる品。

定 價 大 金 九十 錢 小 金 六十 錢

お道具箱とぬり糸の由來

倉橋惣三氏の談

「お道具箱」や「ぬり糸」を、東京女高師附屬幼稚園で、使はせ初めたのは私であります。是等は入園の際に保護者に話して各自に買はせるのであります。これについては凡そ左の三つの理由を挙げることが出来ます。

- 一、此の費用を材料費に充つ
- 一、自己所有物に對する訓練
- 一、幼稚園終了後の紀念品とする

右等の意味に於て私は常に、お道具箱や、ぬり糸、並に自由畫帳を、各自に買はせる様常に奨励してゐるのであります。

東京・神田・一橋通(教育會館内)

發 賣 元

株式會社

フ レ ー ベ ル 館

電話九段(御註文用)三八二七
三四五・三六三・三七四
八八〇
銀座 東京 一九六四〇

昭和四年五月十五日第三種郵便物認可
(毎月一回十五日發行)

昭和五年三月十二日印刷納本
昭和五年三月十五日發行

定價三十五錢